

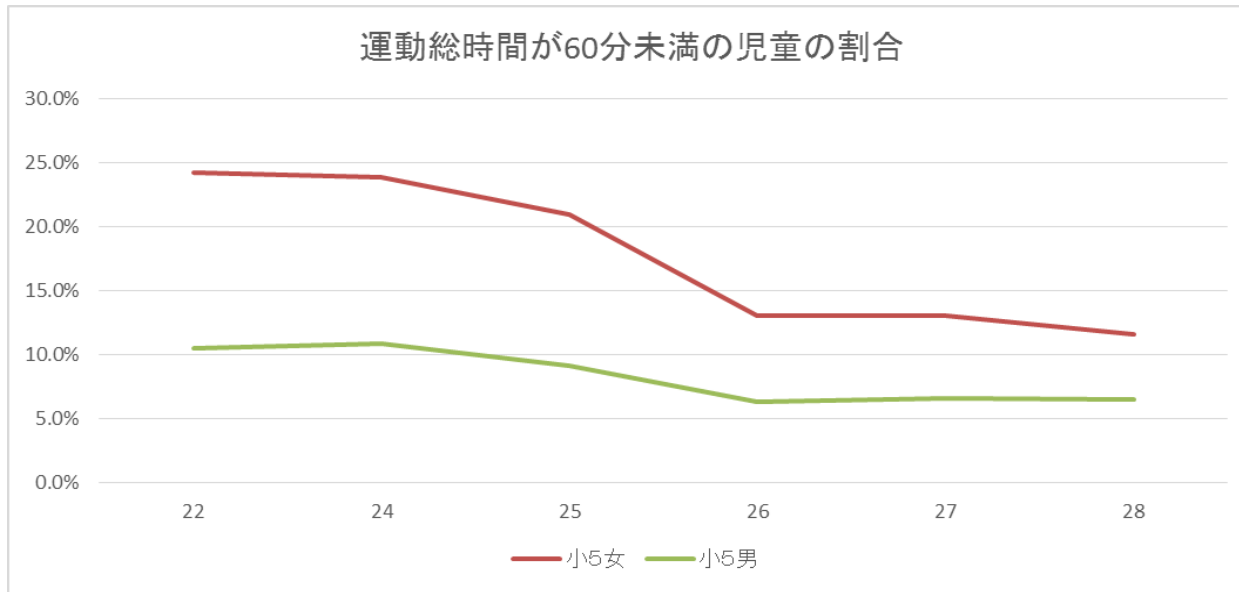
別紙(図表)

平成29年6月29日	資料3
第9回健康日本21(第二次)推進専門委員会	

別紙1

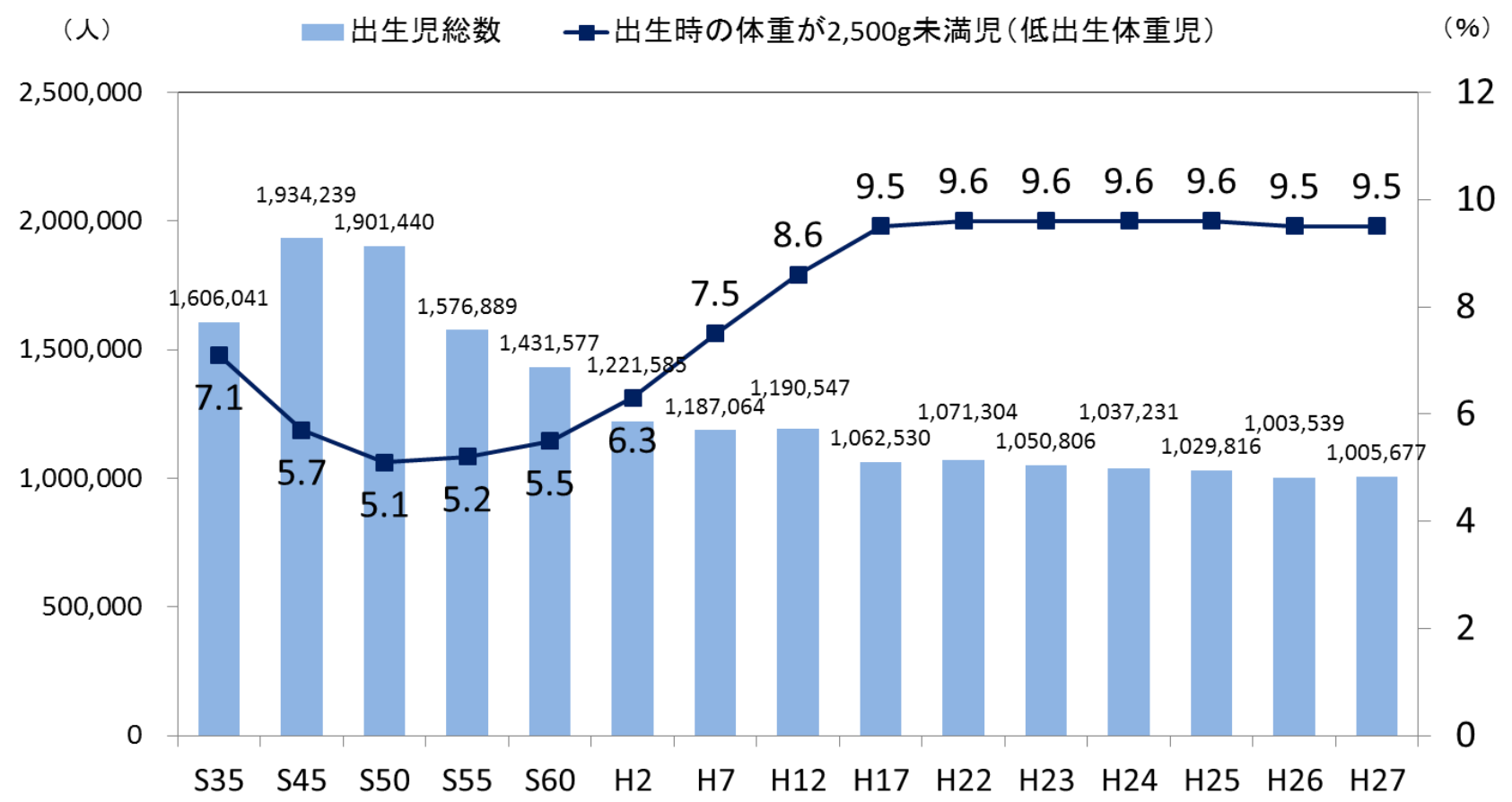
3. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標  
 (2)次世代の健康 ①健康な生活習慣(栄養・食生活、運動)を有する子どもの割合の増加  
 イ 運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加

	22年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
小5男	10.5%	10.9%	9.1%	6.3%	6.6%	6.5%
前年比		0.4%	-1.8%	-2.8%	0.3%	-0.1%
小5女	24.2%	23.9%	21.0%	13.0%	13.0%	11.6%
前年比		-0.3%	-2.9%	-8.0%	0.0%	-1.4%



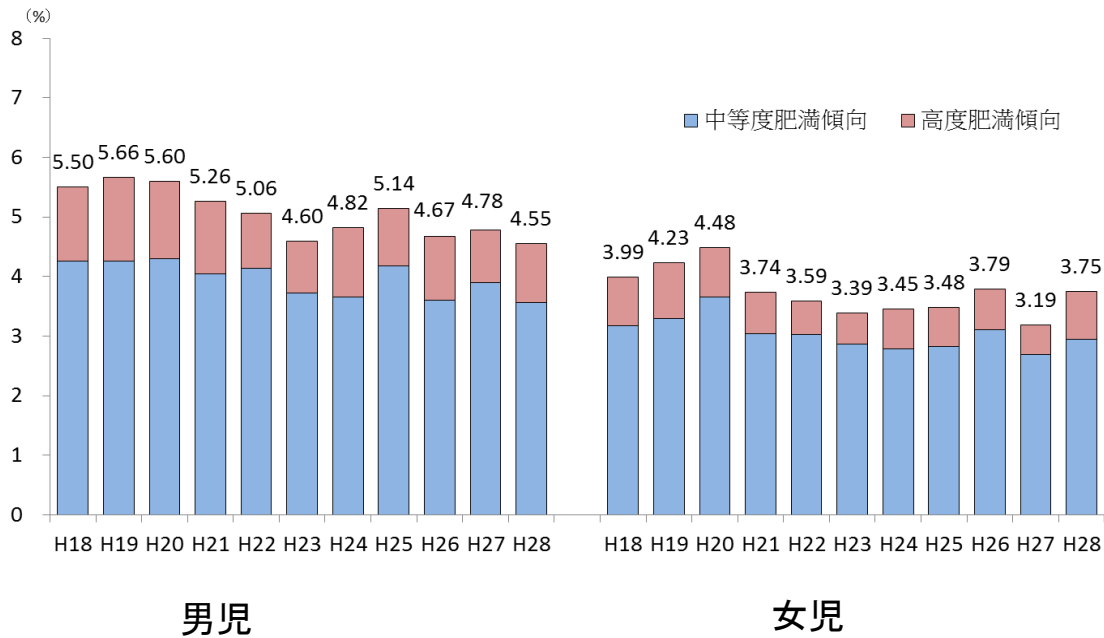
3. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標  
 (2)次世代の健康 ② 適正体重の子どもの増加  
 ア 全出生数中の低出生体重児の割合の減少

出生数及び低出生体重児の割合の年次推移



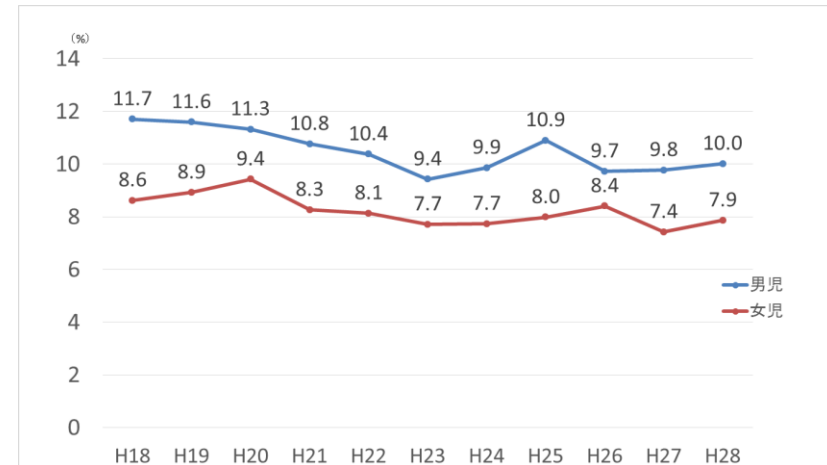
3. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標  
 (2) 次世代の健康 ② 適正体重の子どもの増加  
 イ 肥満傾向にある子どもの割合の減少

中等度及び高度肥満傾向児の割合の年次



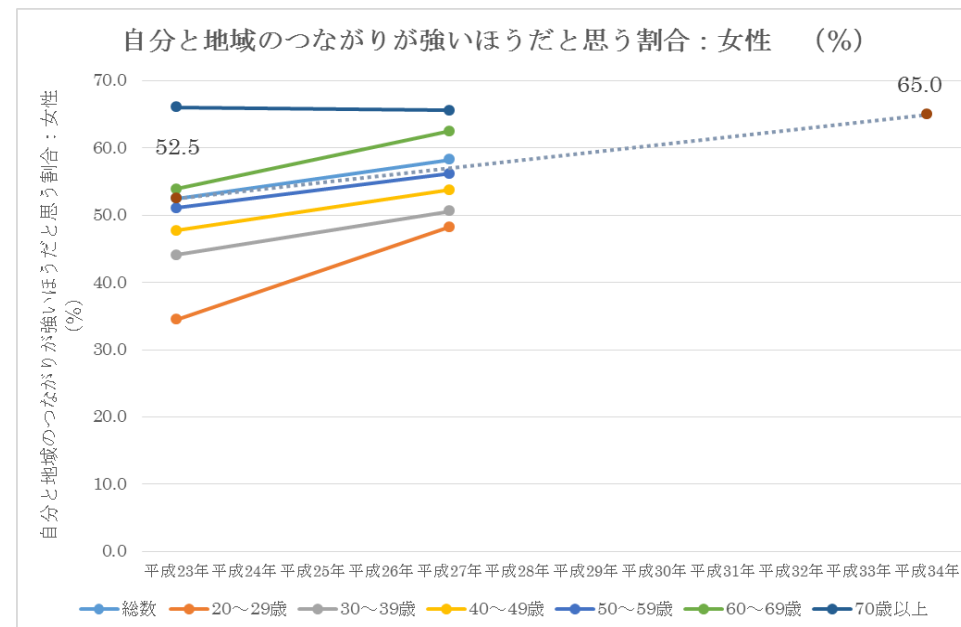
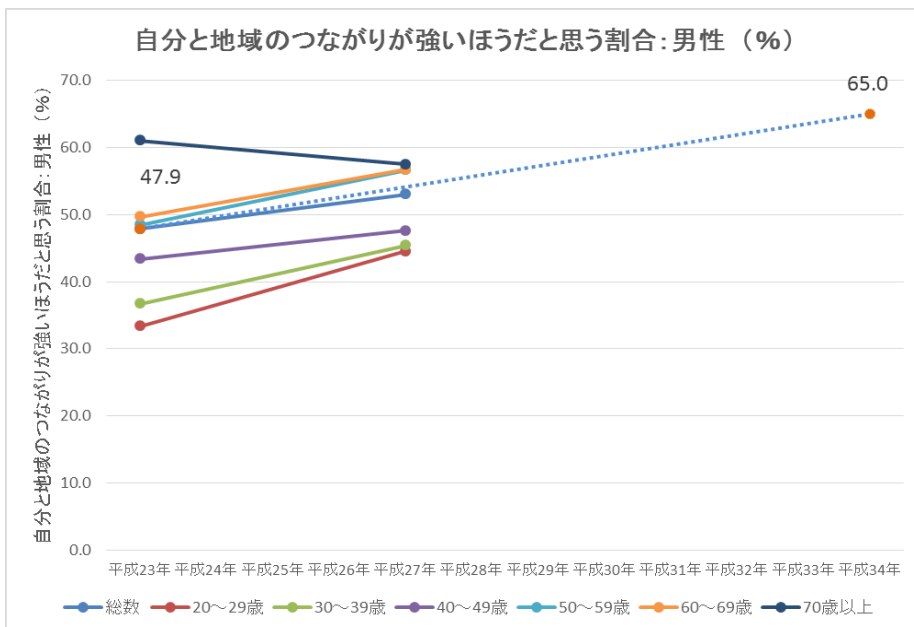
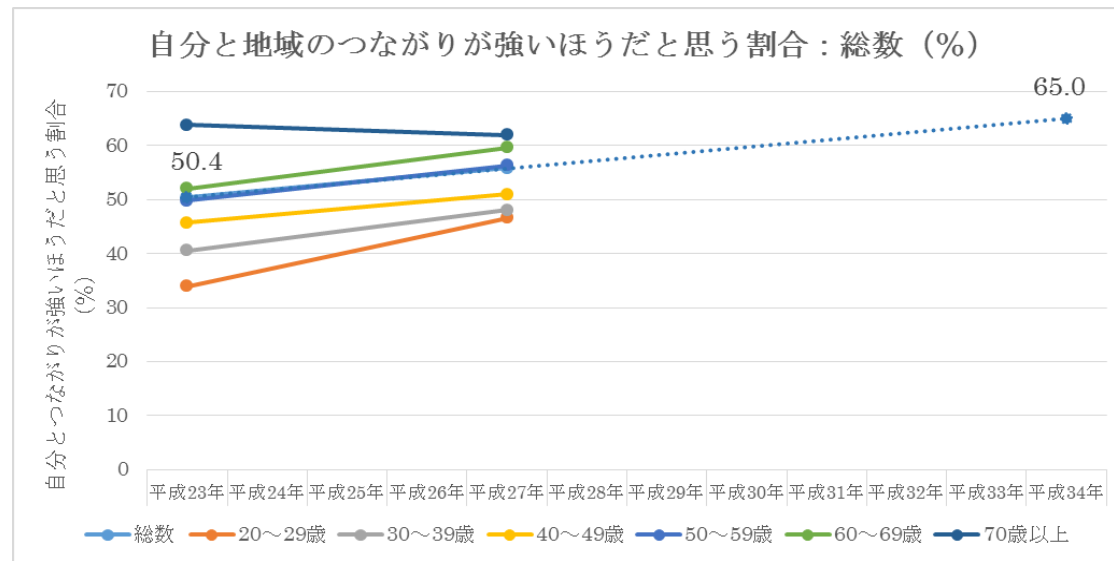
(参考) 肥満傾向児の出現率の年次推移

肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重を求め、肥満度が20%以上の者



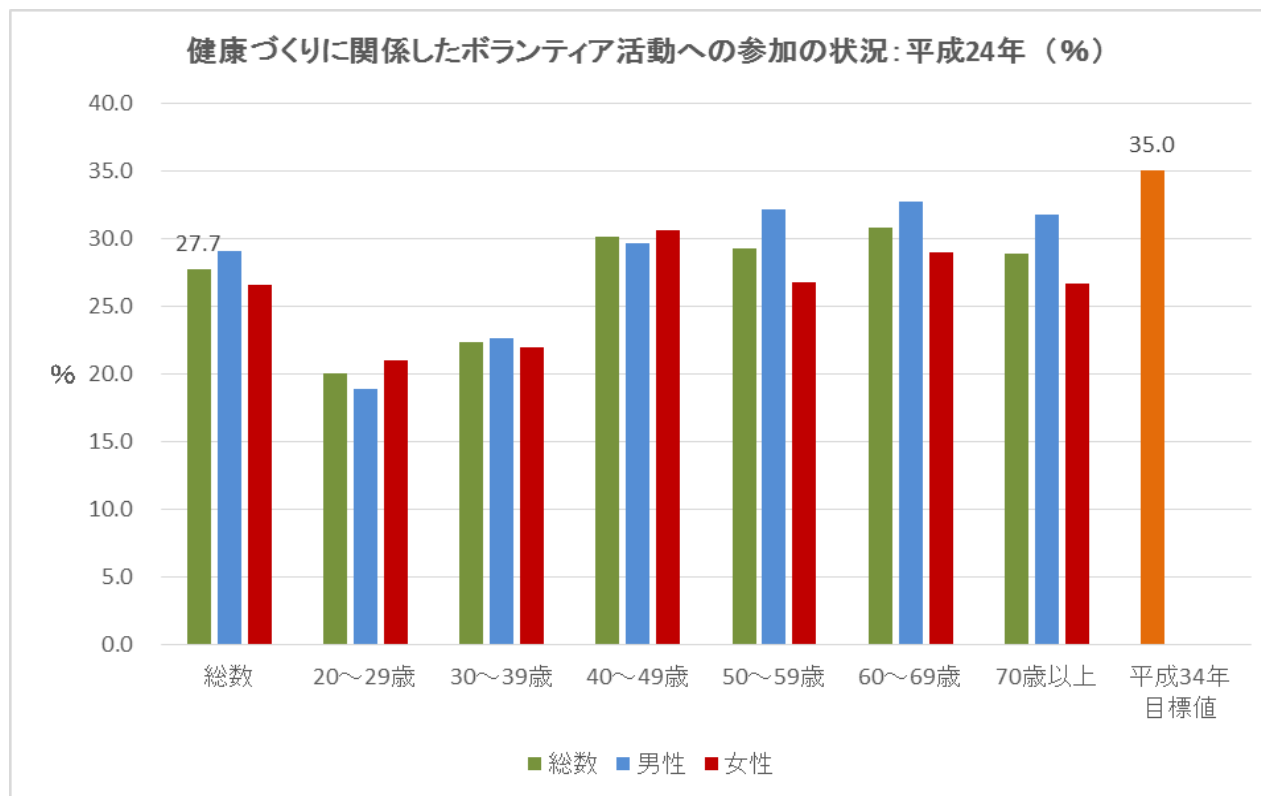
#### 4. 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

##### ①地域のつながりの強化（居住地域でお互いに助け合っていると思う国民の割合の増加）

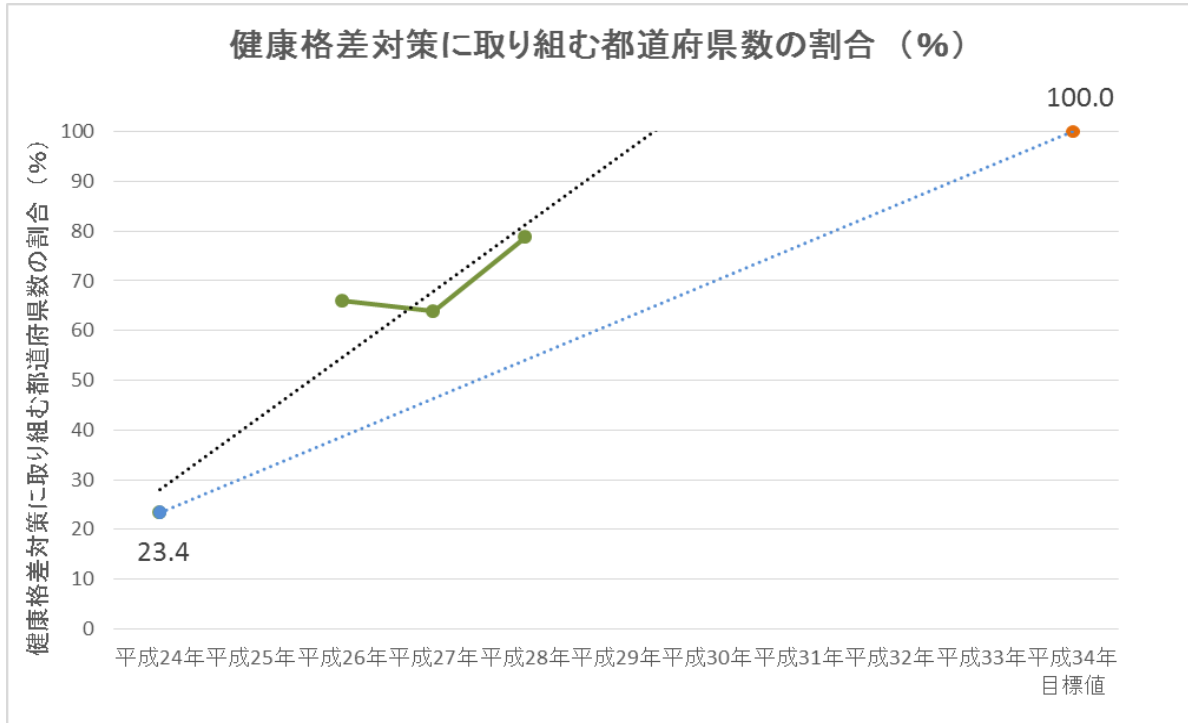


#### 4. 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

##### ②健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている国民の割合の増加

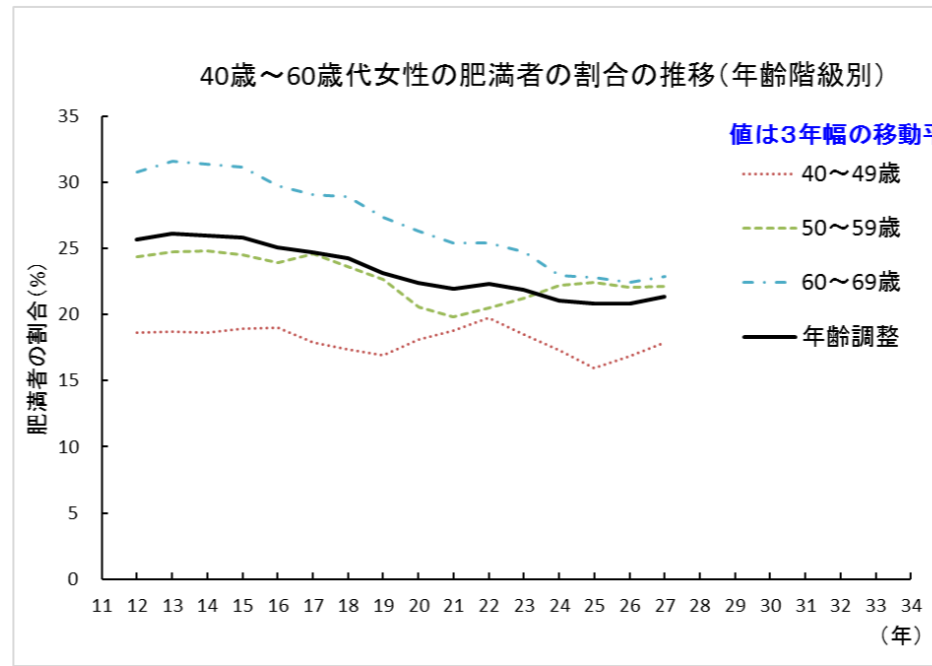
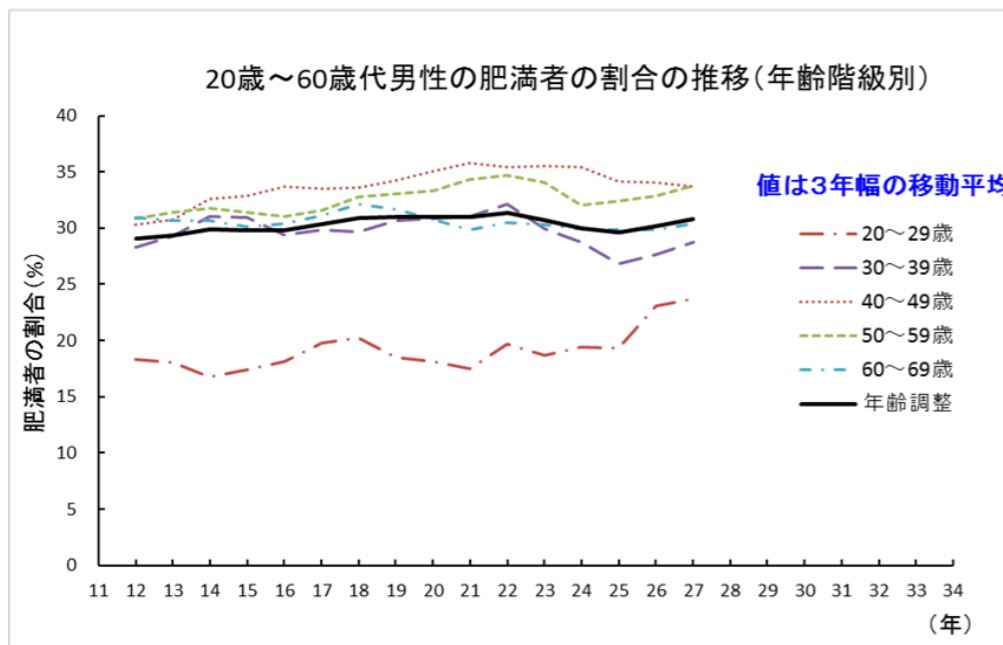
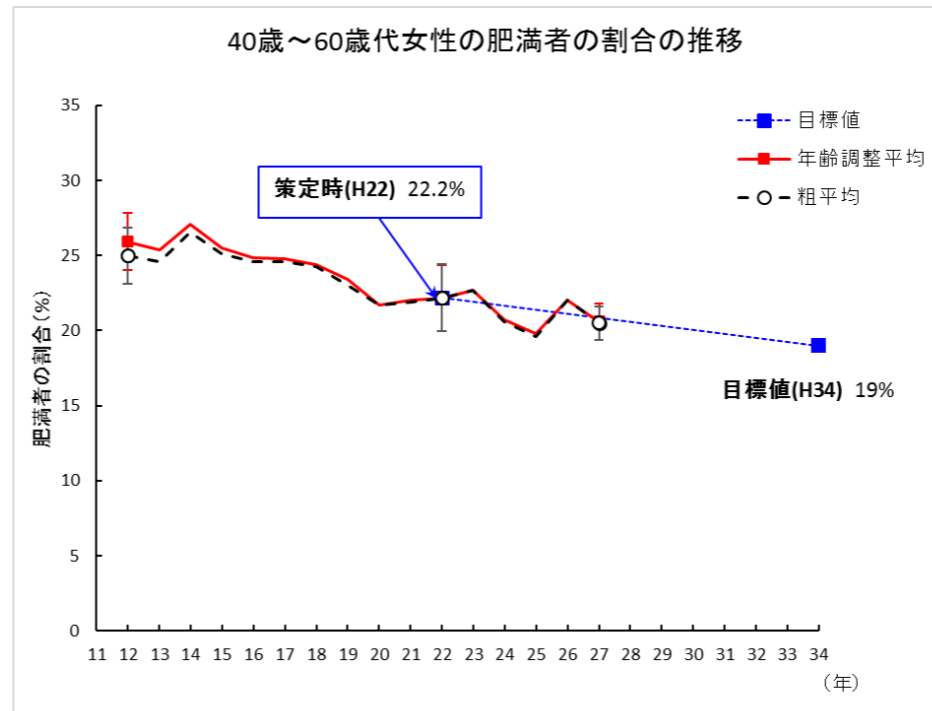
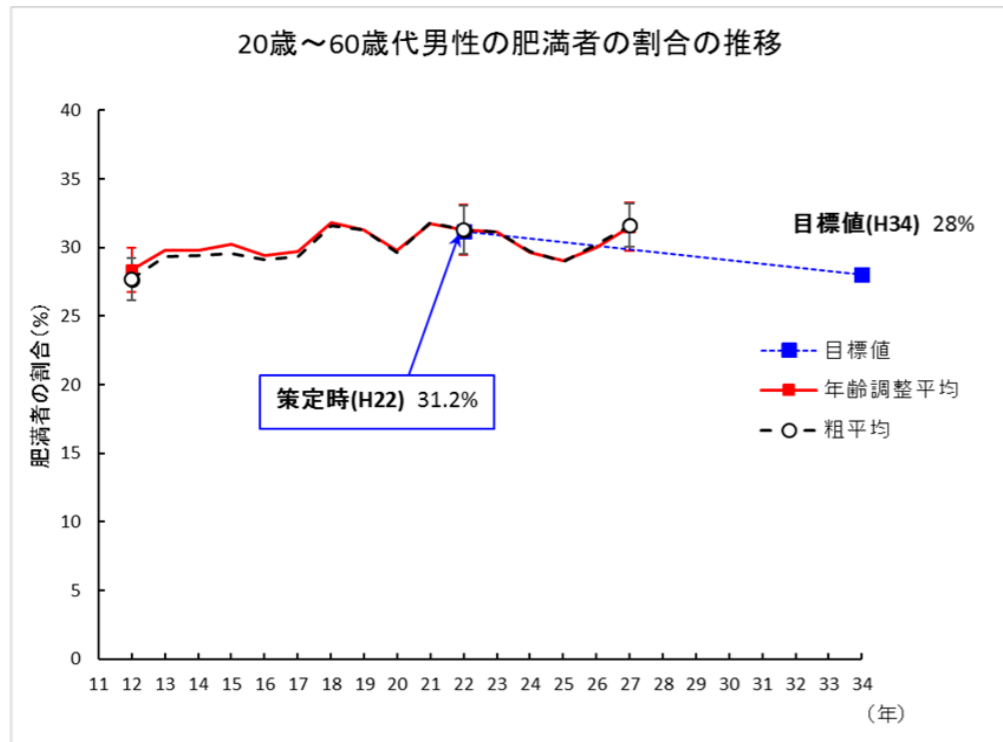


4. 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標 ⑤健康格差対策に取り組む自治体の増加

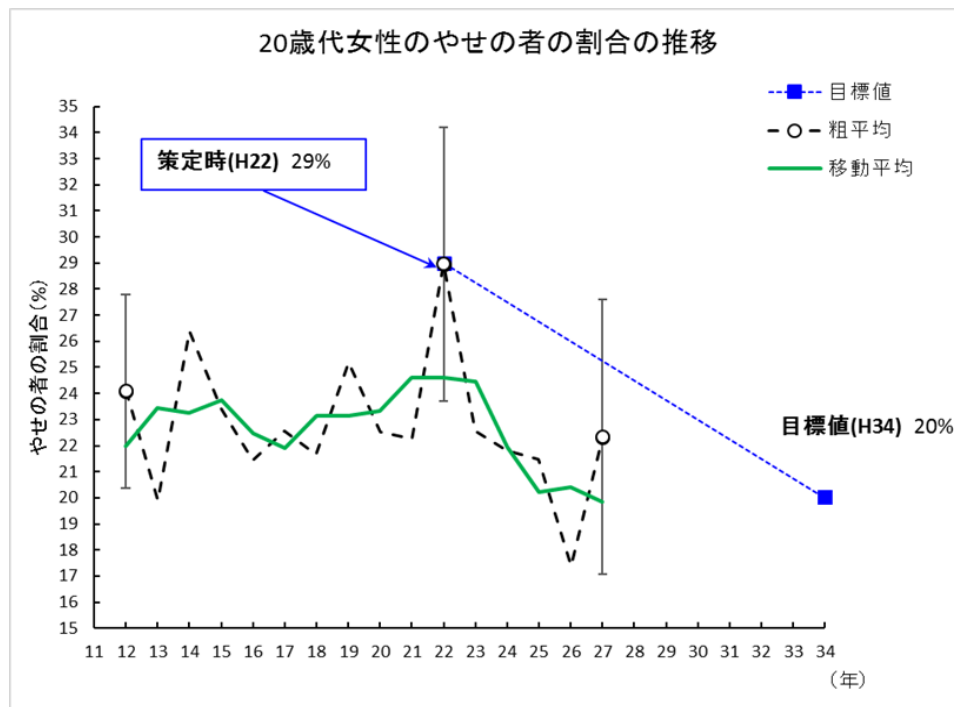


5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

(1) 栄養・食生活 ① 適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少)



5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (1) 栄養・食生活 ① 適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少)

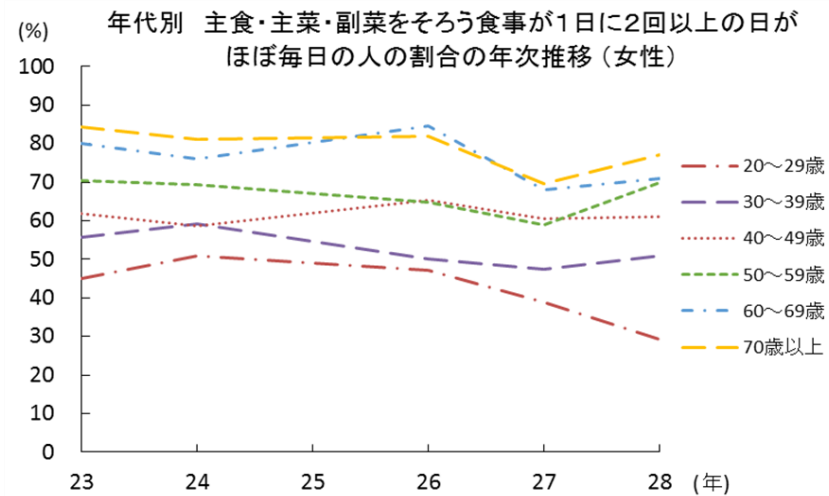
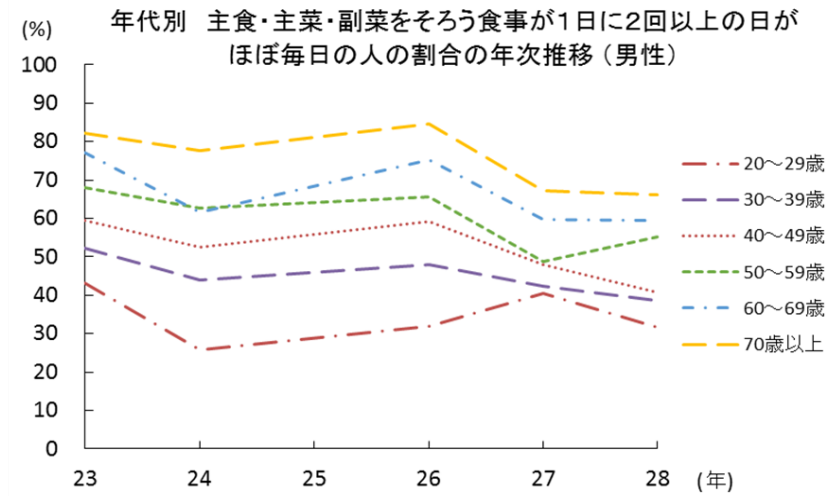
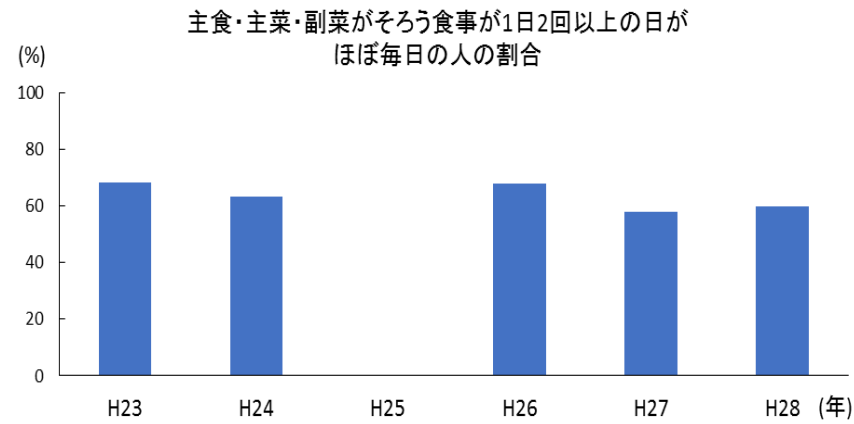




5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

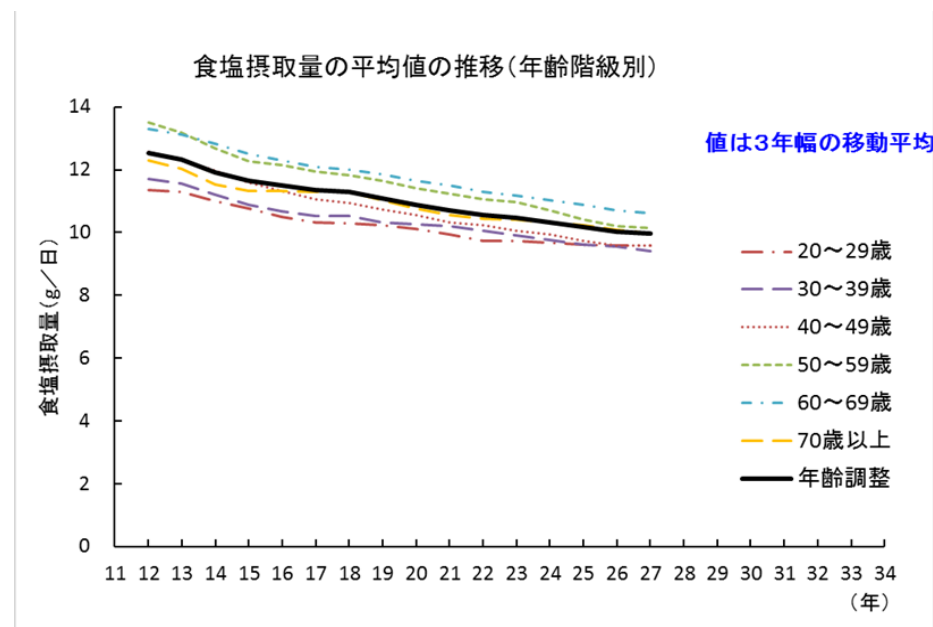
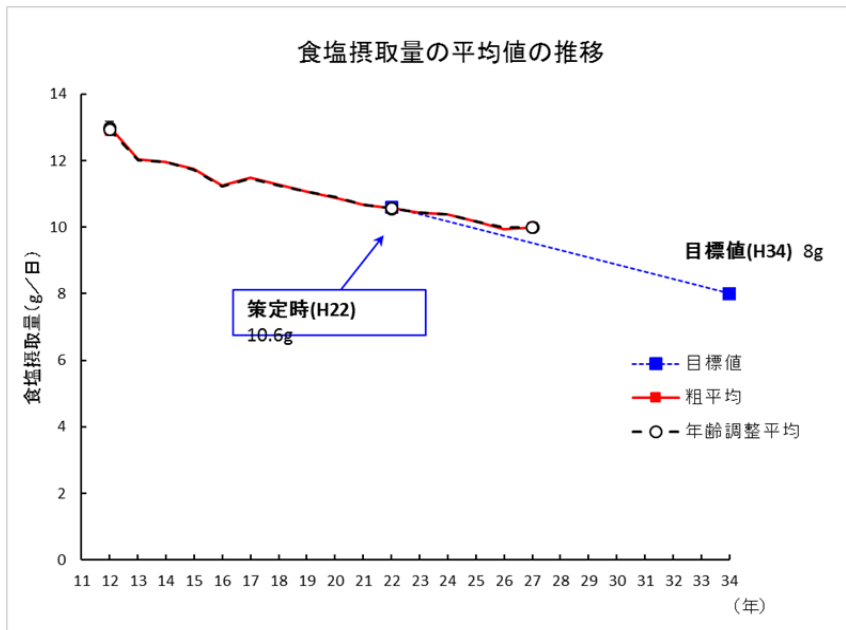
(1) 栄養・食生活 ② 適正な量と質の食事をする者の増加

ア 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加

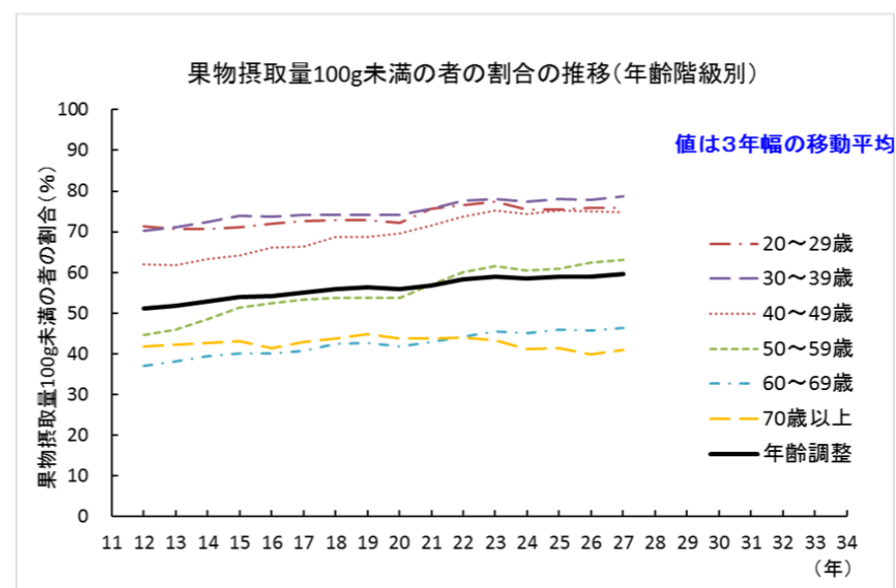
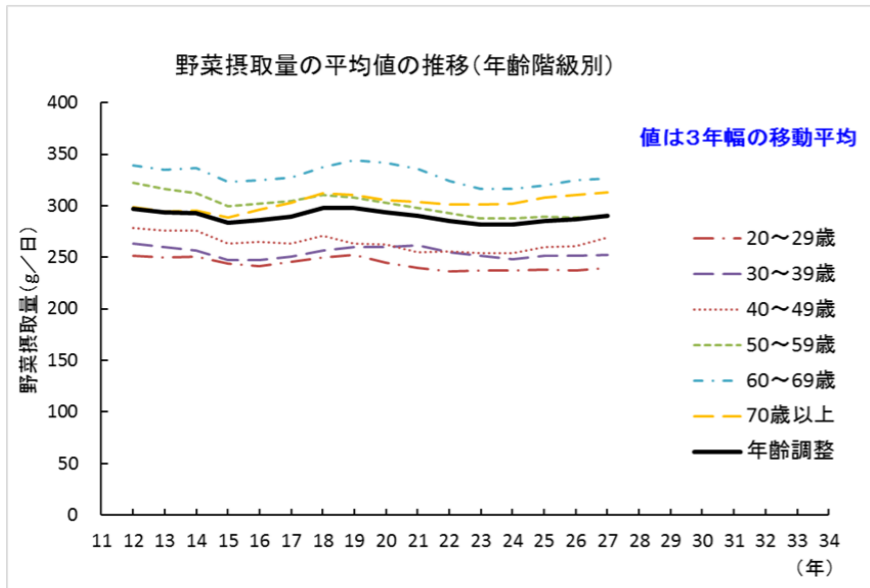
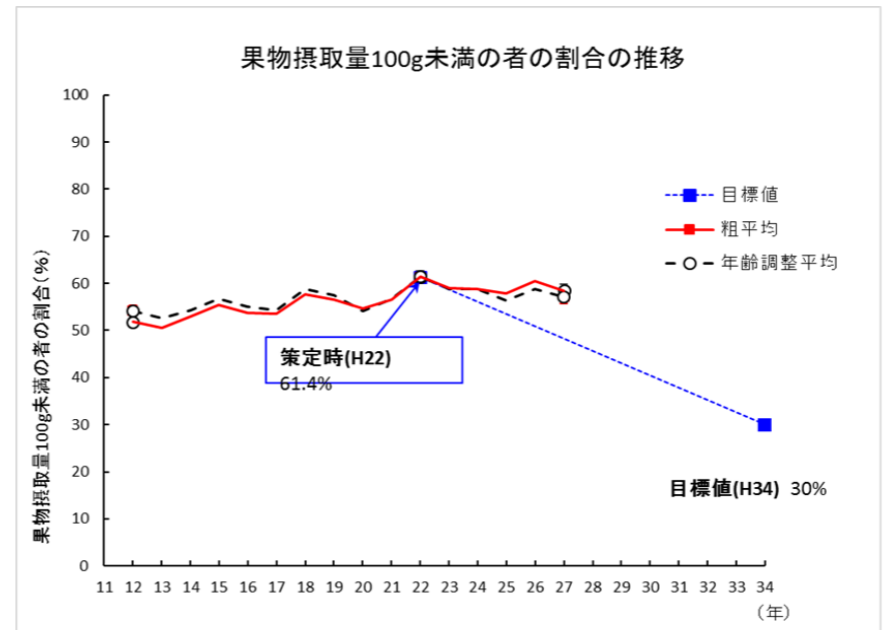
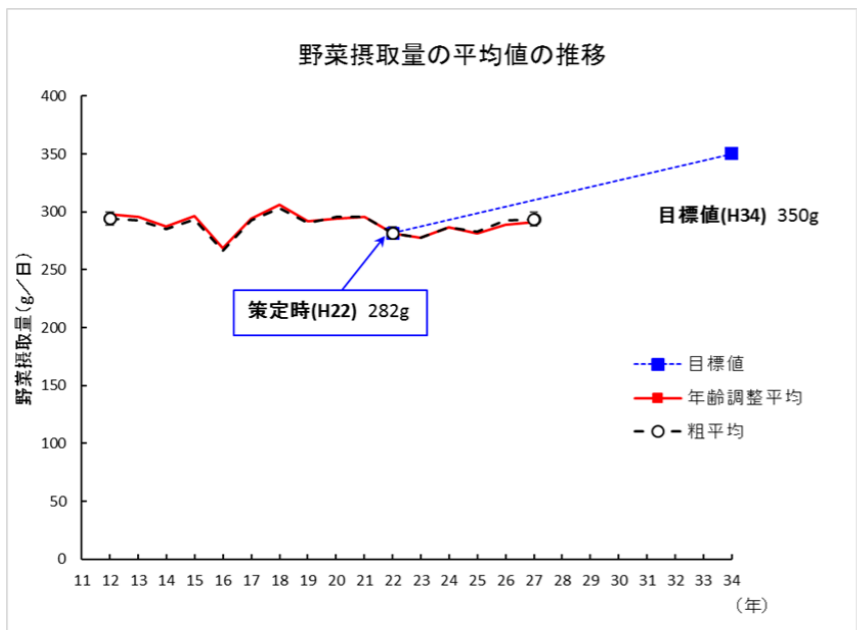


(食育の現状と意識に関する調査)

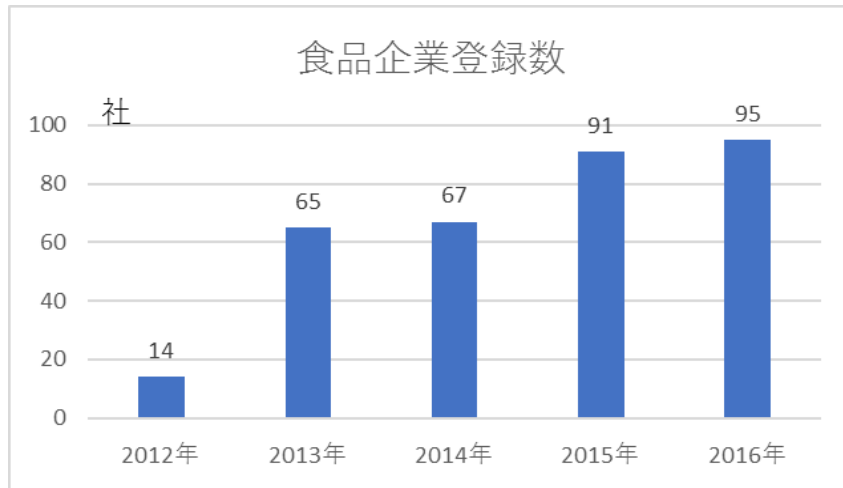
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (1) 栄養・食生活 ② 適正な量と質の食事をとる者の増加  
 イ 食塩摂取量の減少



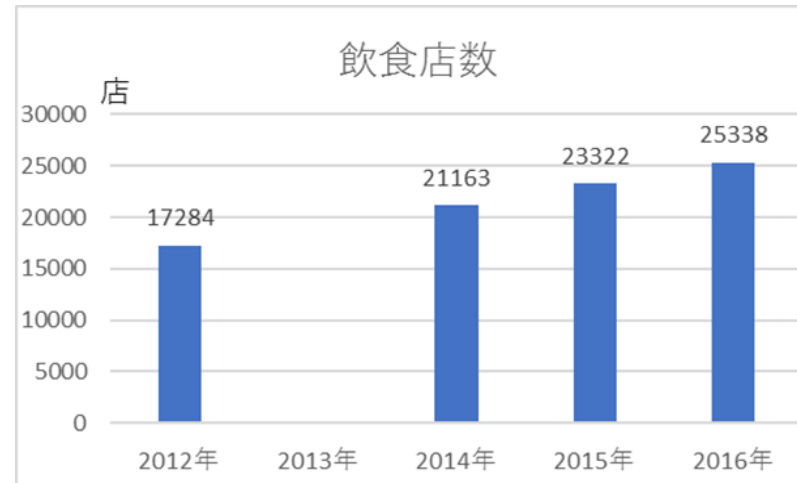
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (1) 栄養・食生活 ② 適正な量と質の食事をとる者の増加  
 ウ 野菜と果物の摂取量の増加



5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (1) 栄養・食生活 ④食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数の増加



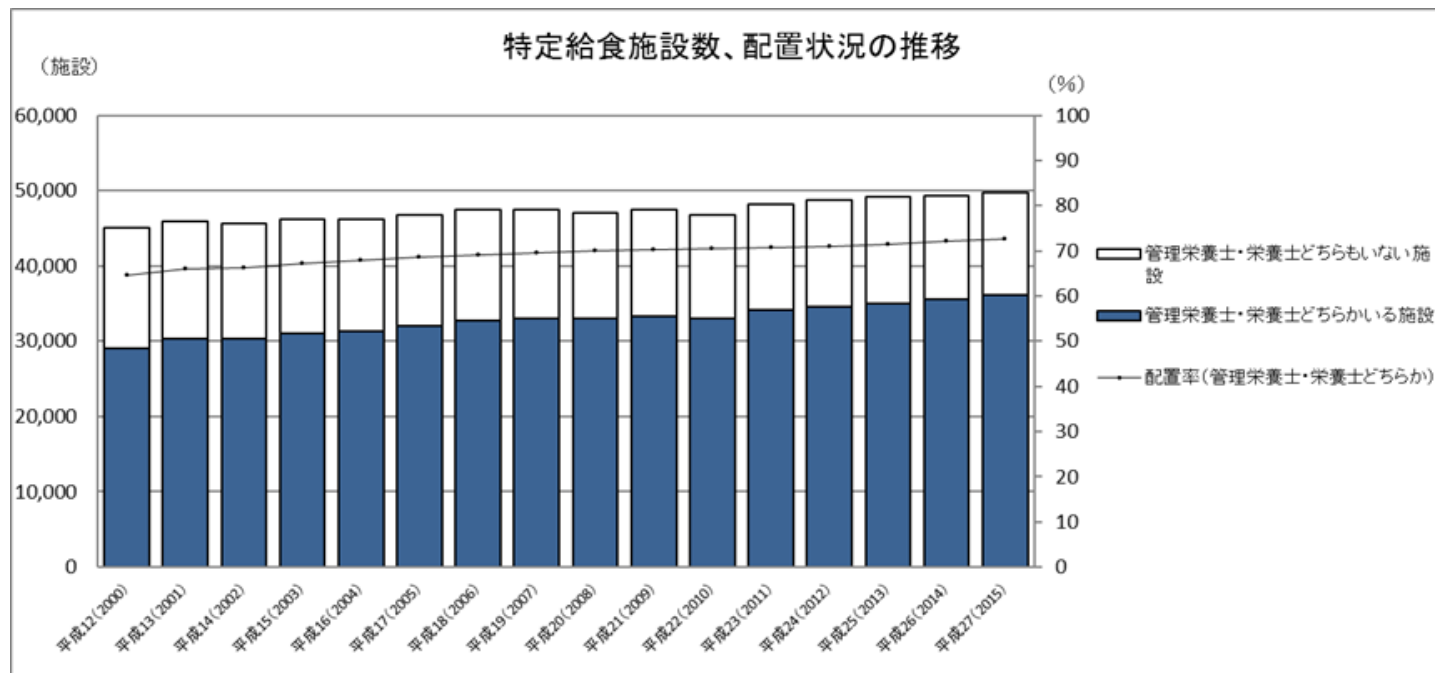
(食品中の食塩や脂肪の低減に取り組み、Smart Life Projectに登録のあった企業数)



2013年はデータ無し  
 (自治体からの報告(エネルギーや塩分控えめ、野菜たっぷり、食物繊維たっぷりといったヘルシーメニューの提供に取り組む店舗数))

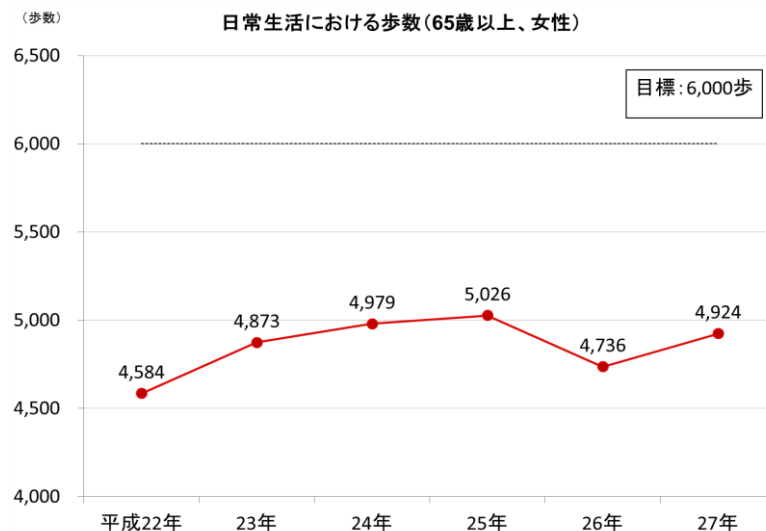
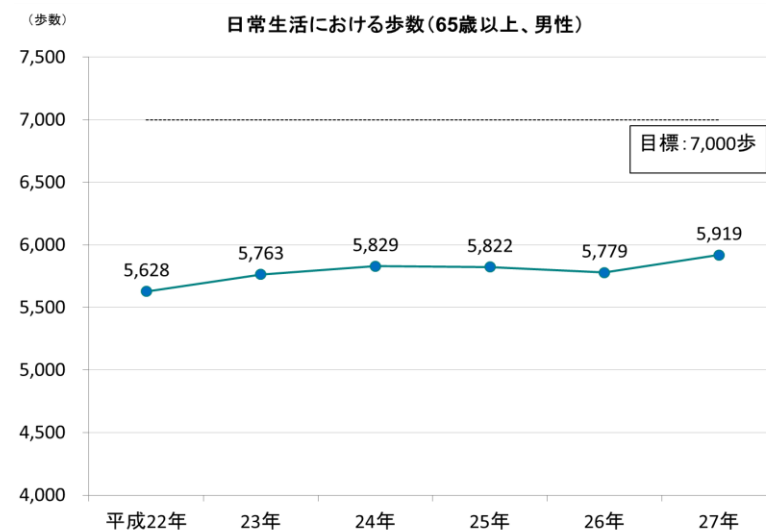
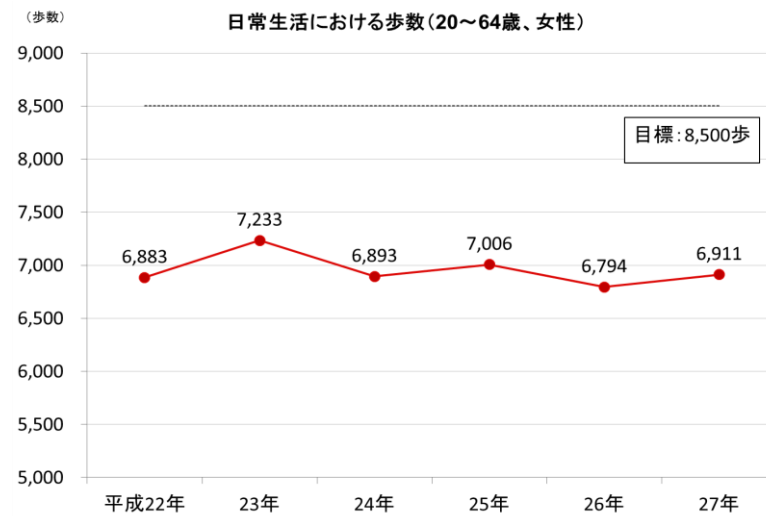
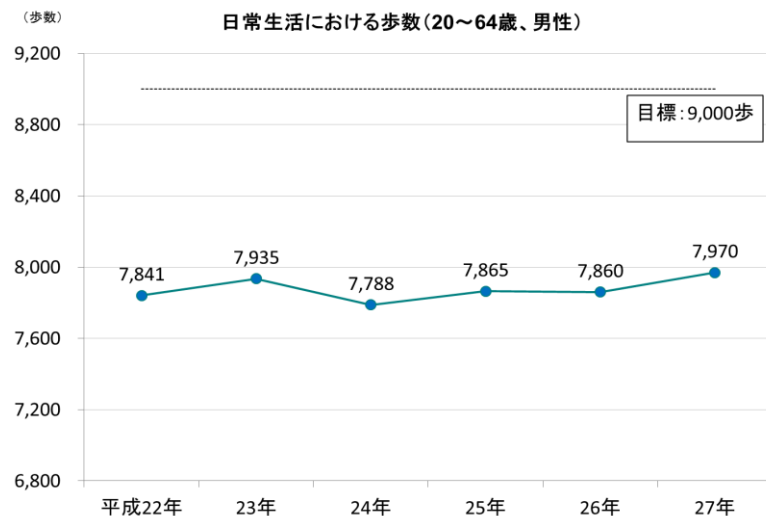
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (1) 栄養・食生活  
 ⑤ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加

(参考値) 管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合

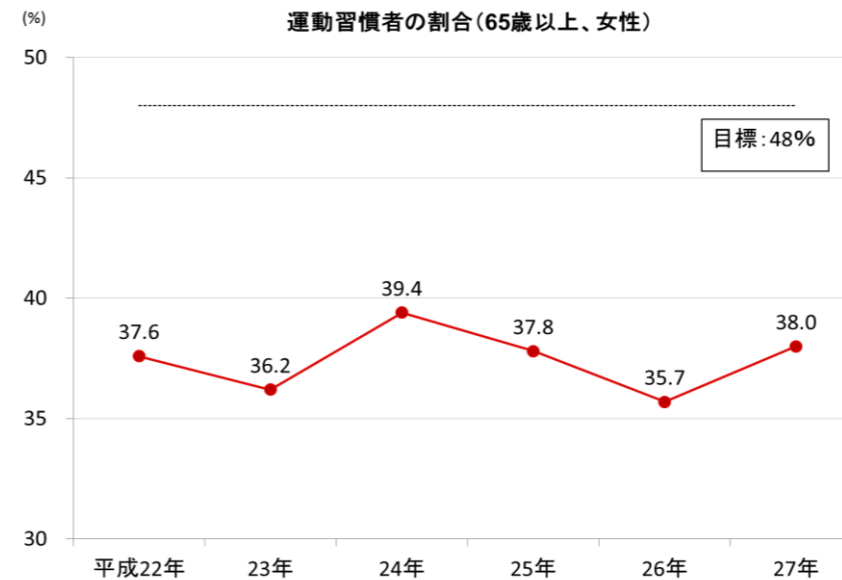
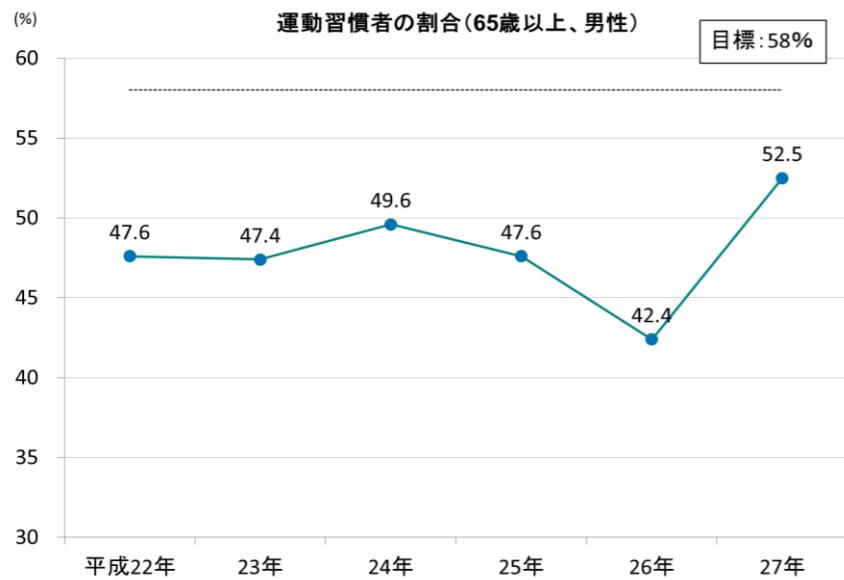
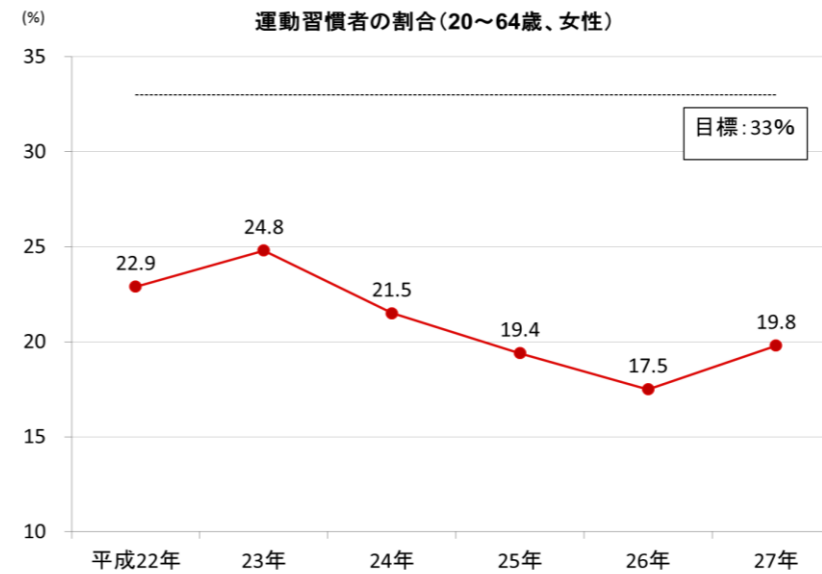
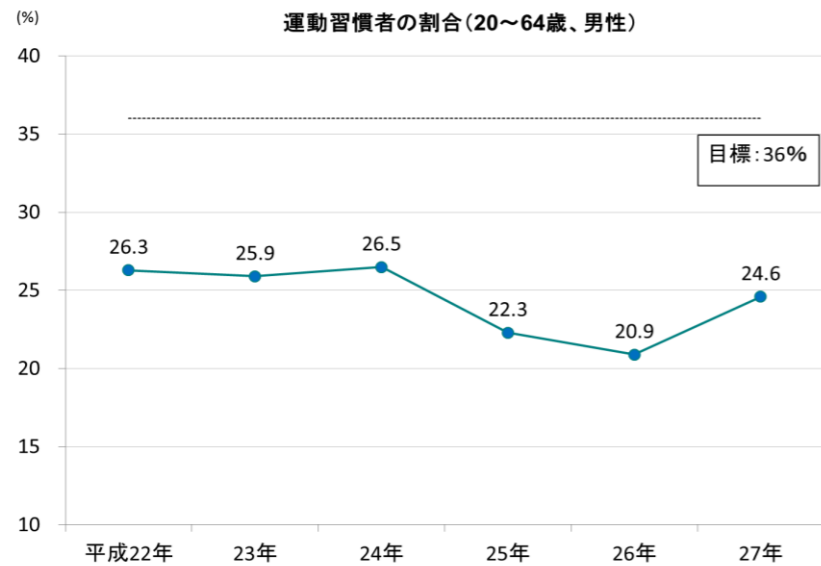


5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

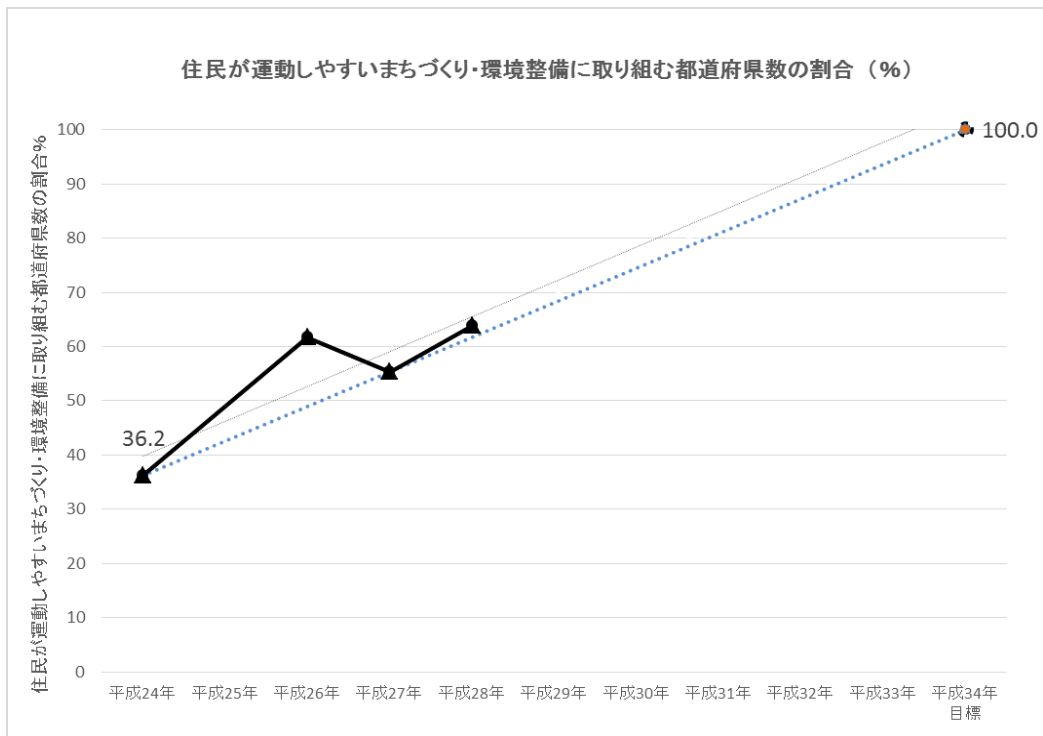
(2) 身体活動 ① 日常生活における歩数の増加



5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (2) 身体活動・運動 ② 運動習慣者の割合の増加

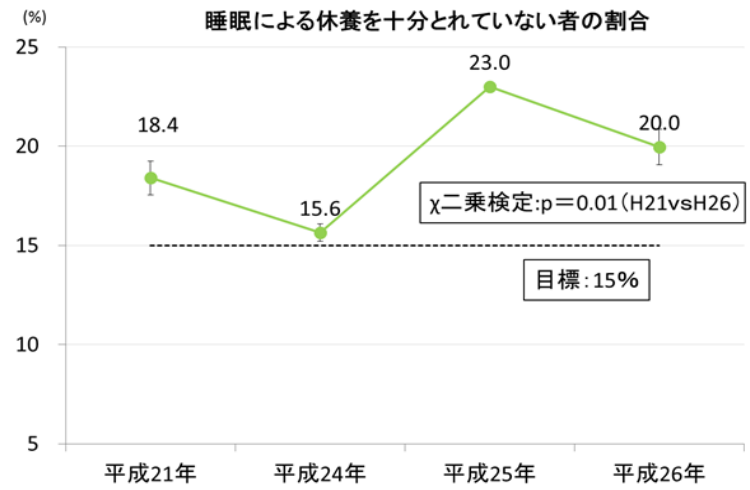


5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
(2)身体活動・運動 ③住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加

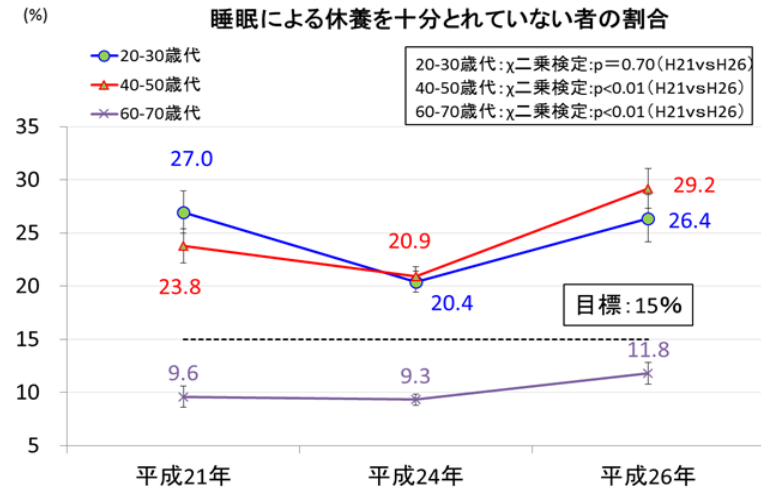
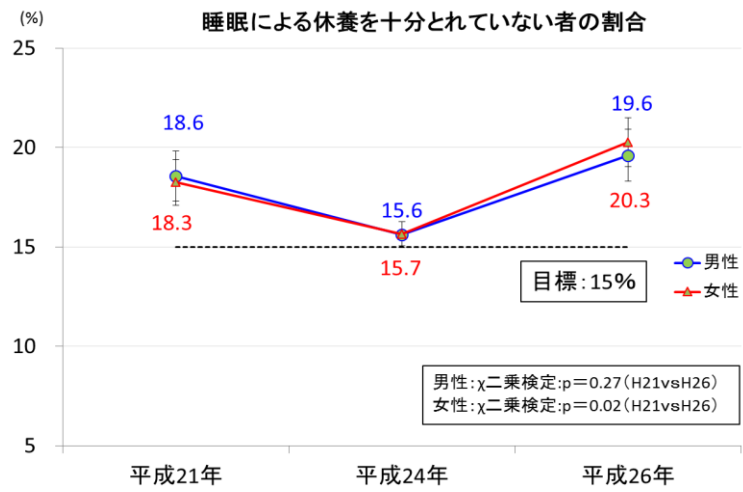




5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (3) 休養 ①睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少(20歳以上)

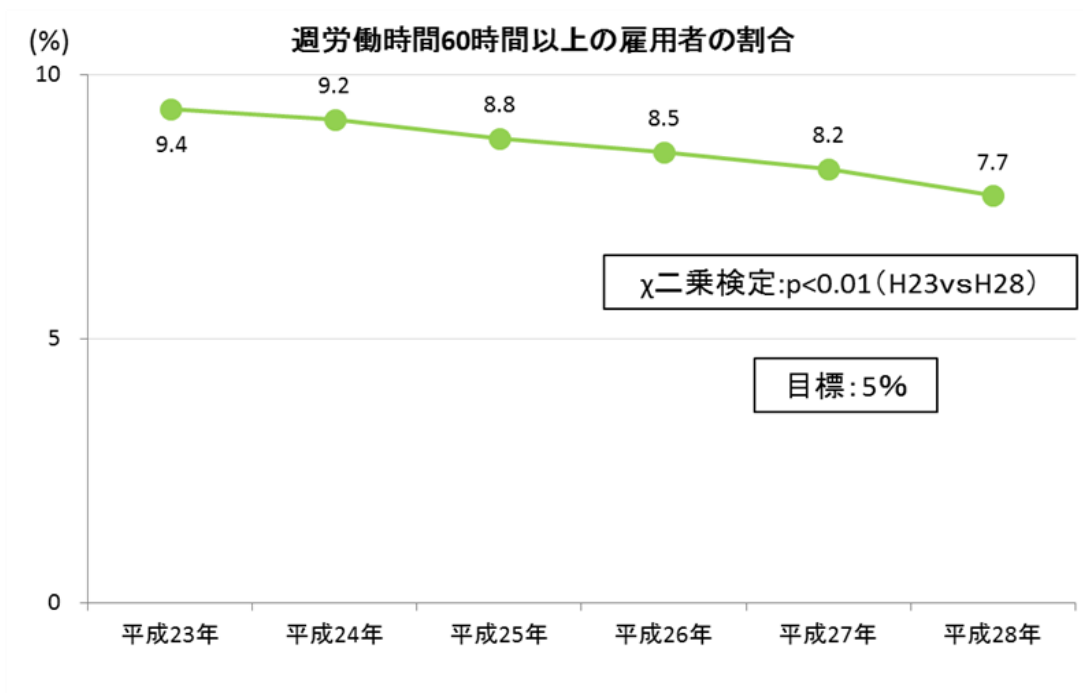


厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
 ※平成25年は「国民生活基礎調査」



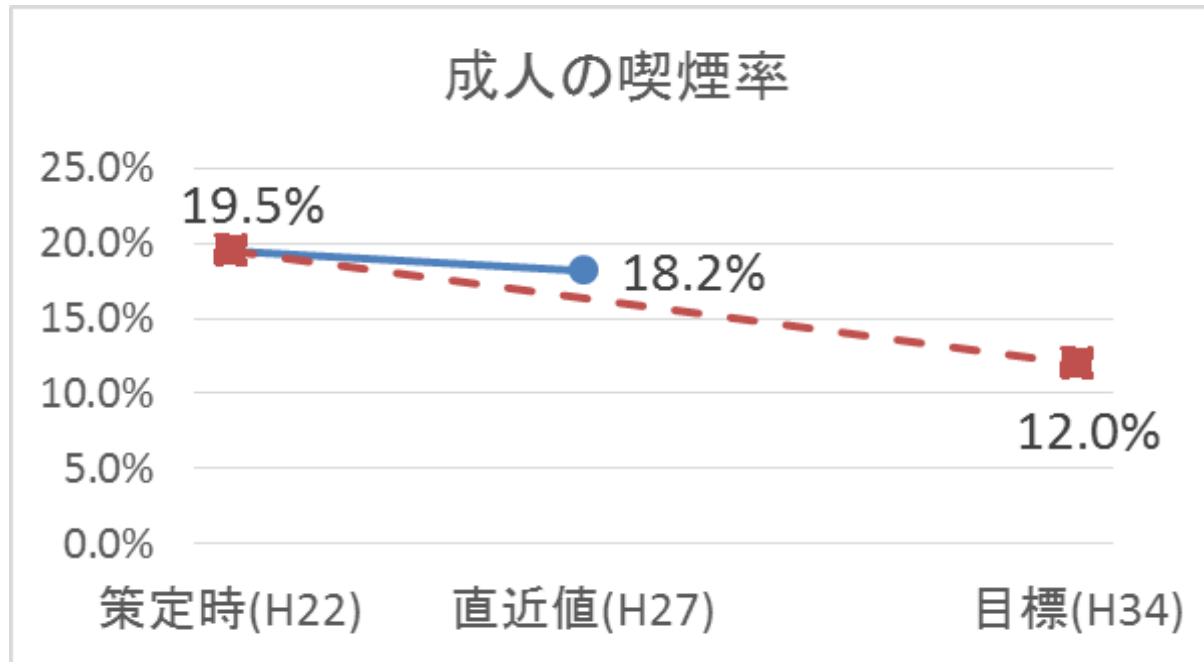
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
(3) 休養 ② 週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少(15歳以上)

(参考資料)

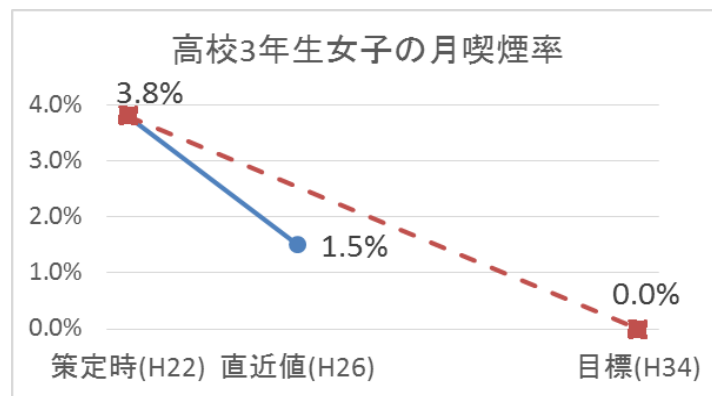
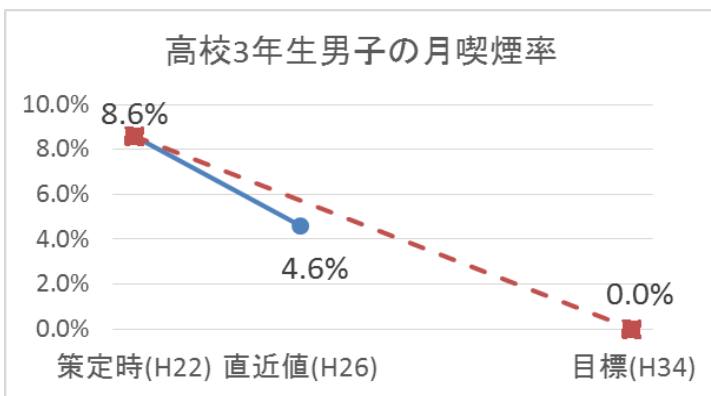
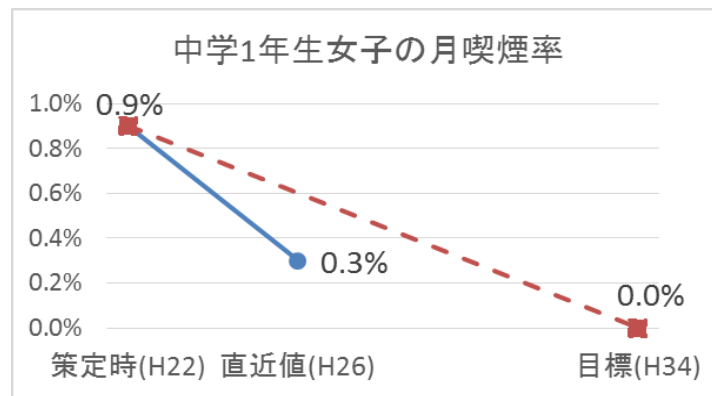
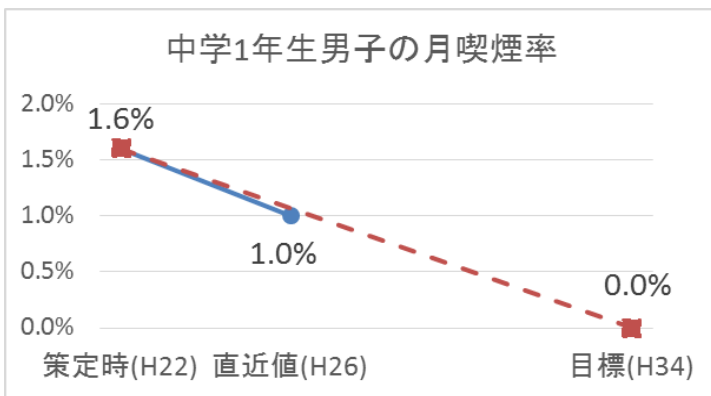


※総務省「労働力調査」より作成、厚生労働省「国民健康・栄養調査」公表数値と若干異なる。

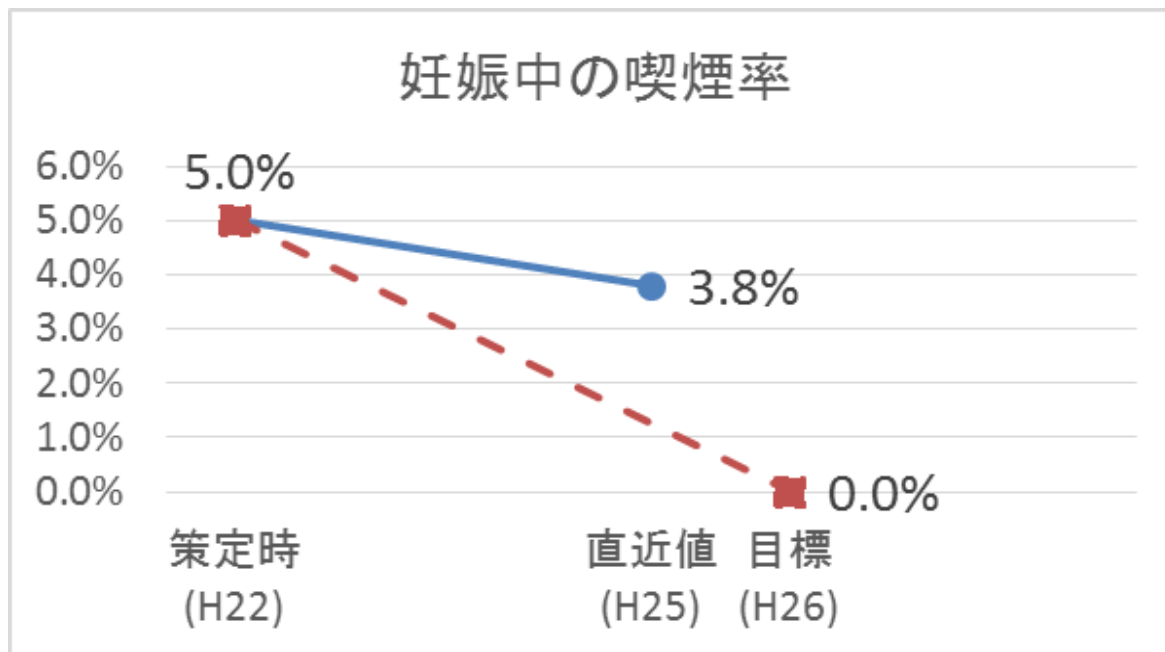
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (5) 喫煙 ①成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)



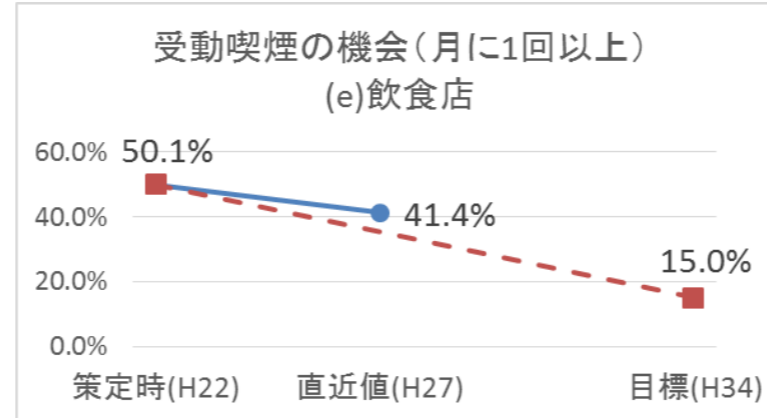
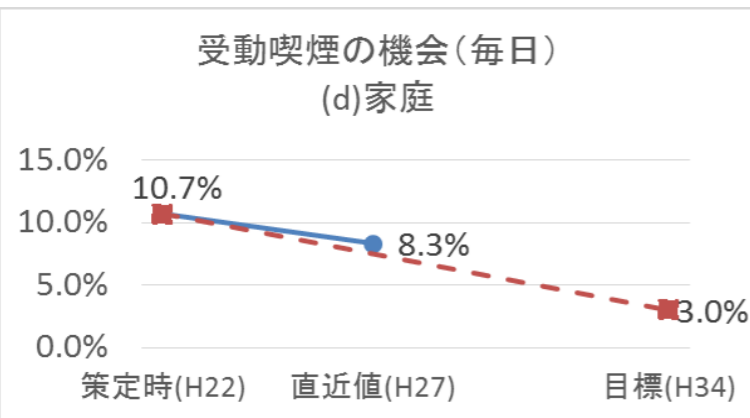
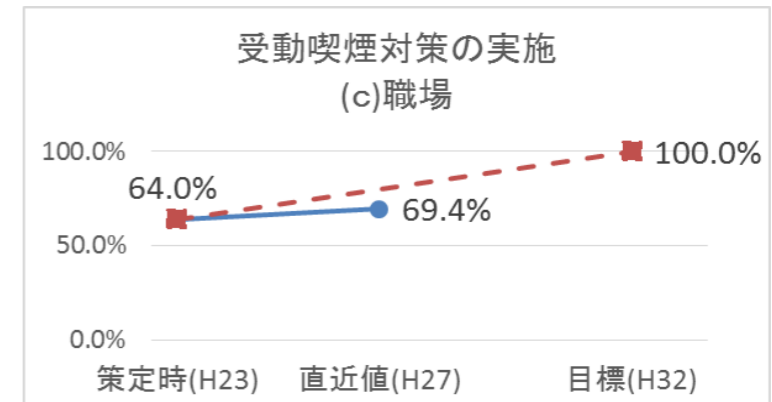
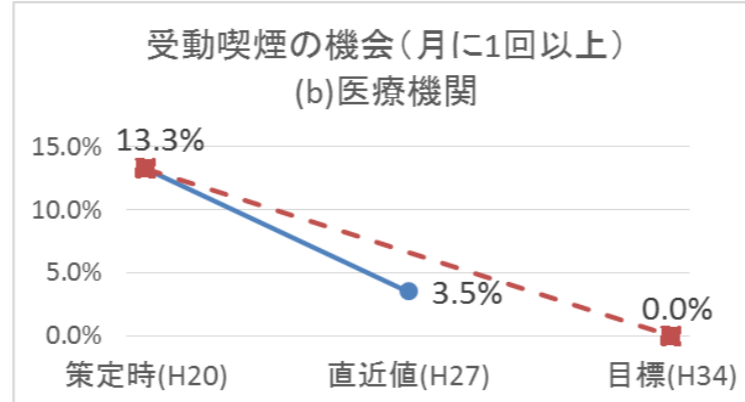
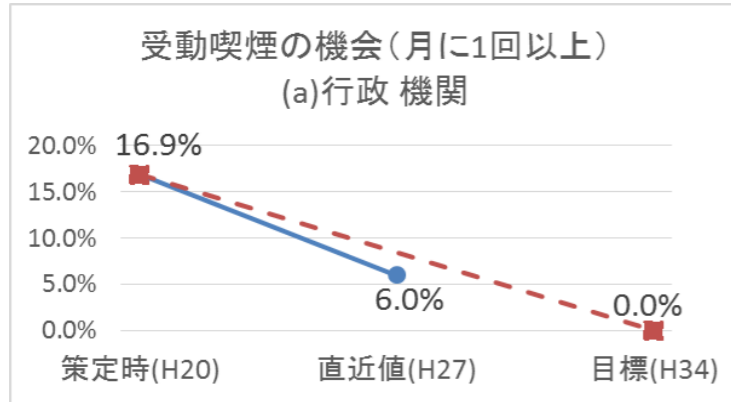
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (5) 喫煙 ② 未成年者の喫煙をなくす



5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
(5) 喫煙 ③ 妊娠中の喫煙をなくす

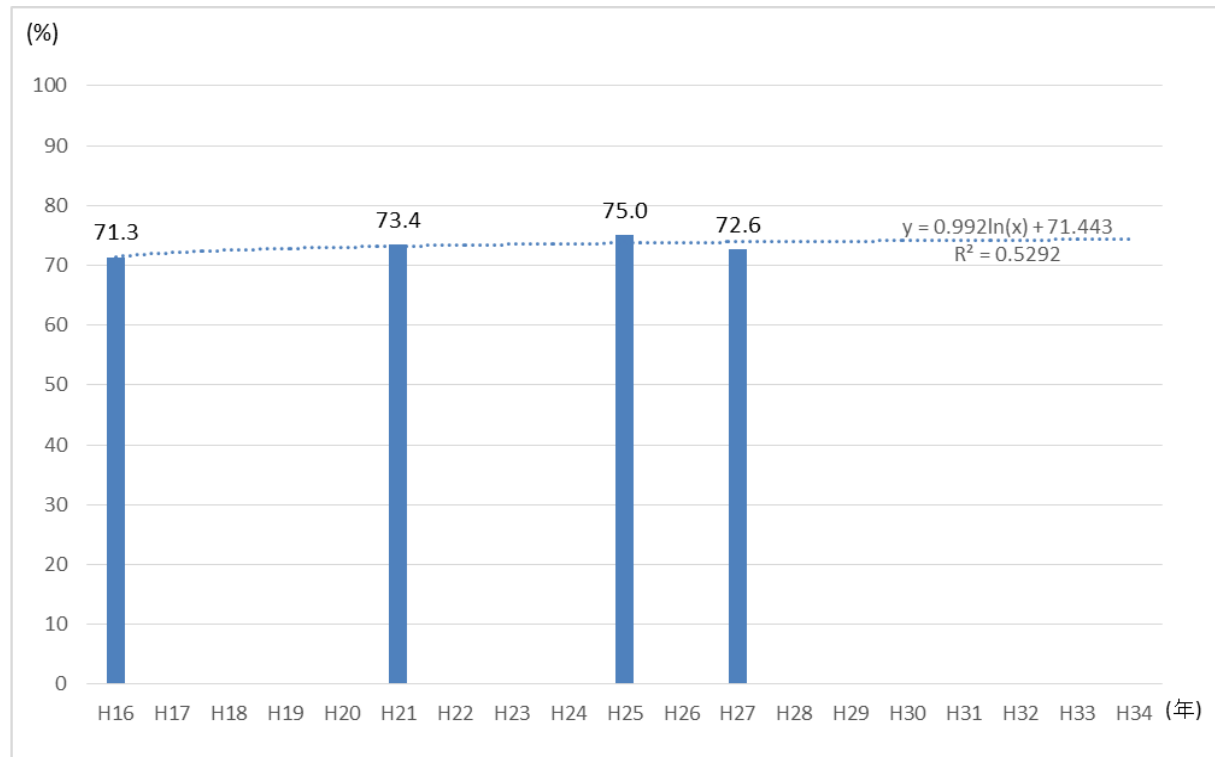


5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (5) 喫煙 ④受動喫煙(家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関)の機会を有する者の割合の減少



5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (6) 歯・口腔の健康 ① 口腔機能の維持・向上(60歳代における咀嚼良好者の割合の増加)

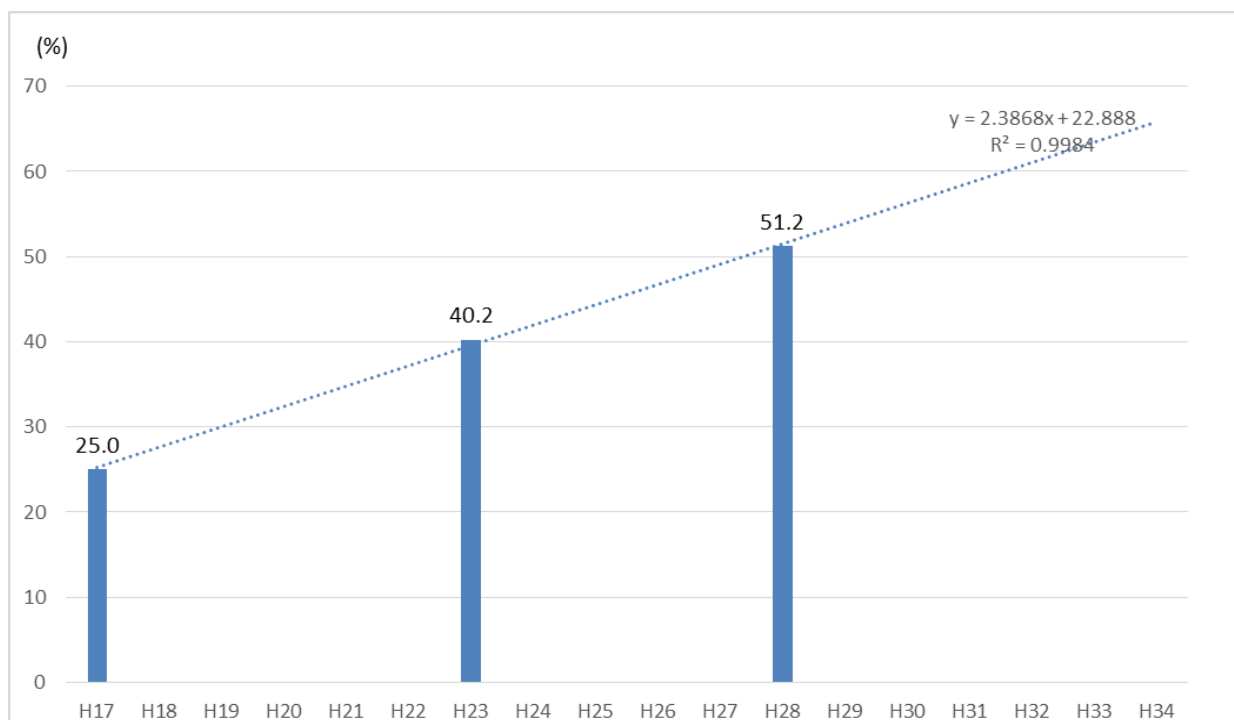
60歳代における咀嚼良好者の割合の推移



出典: 国民健康・栄養調査

5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
(6) 歯・口腔の健康 ② 歯の喪失防止 ア 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加

80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の推移

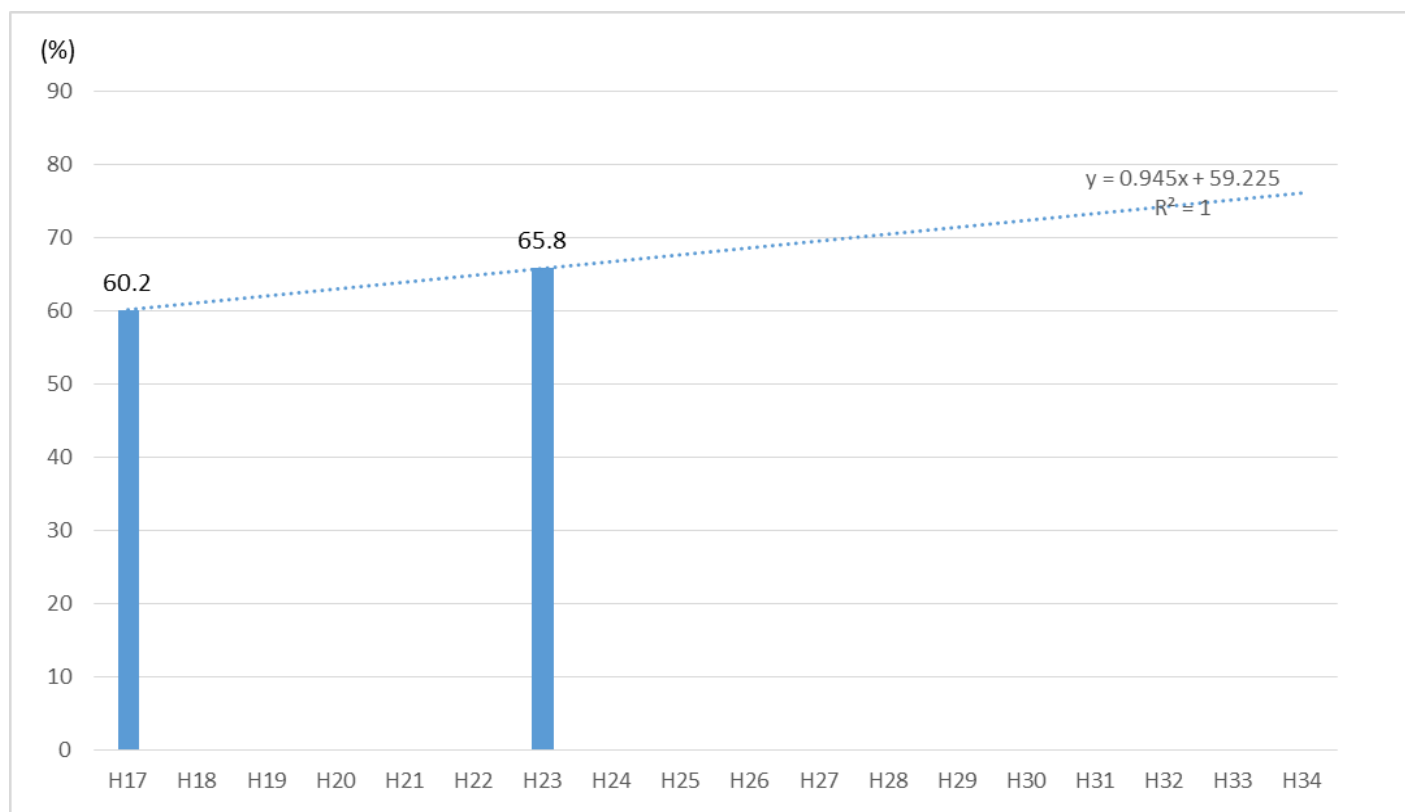


出典: 歯科疾患実態調査



5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
(6) 歯・口腔の健康 ② 歯の喪失防止 イ 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加

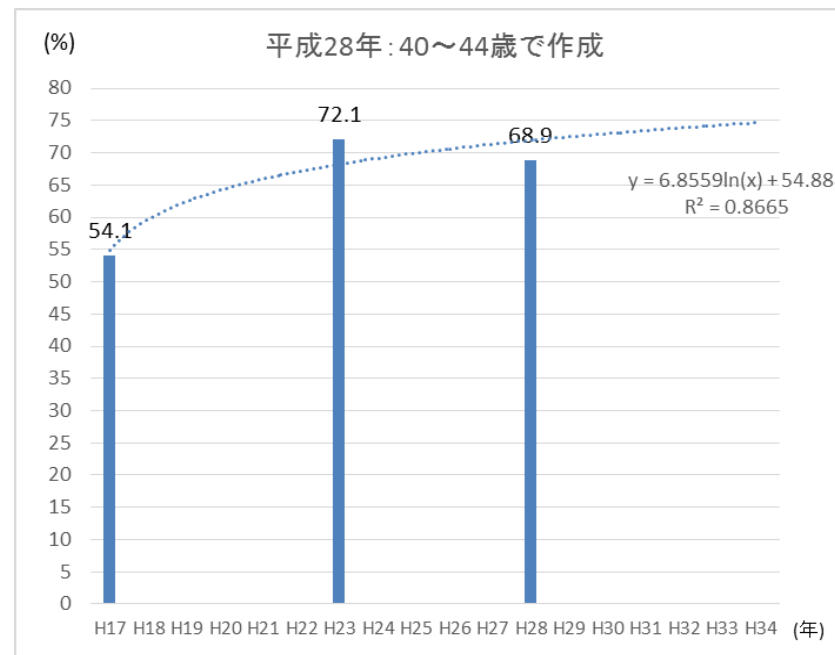
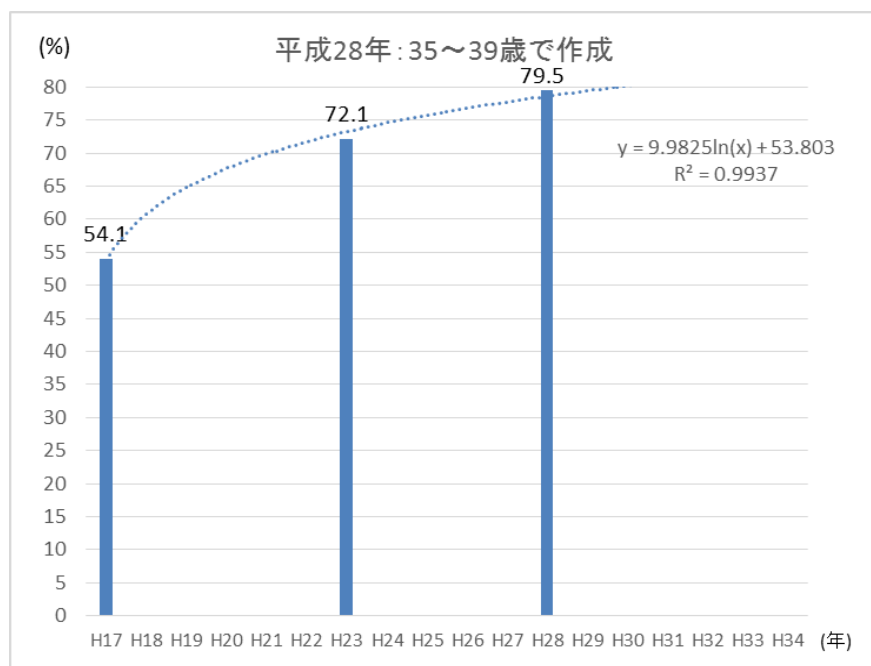
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の推移



出典：歯科疾患実態調査

5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (6) 歯・口腔の健康 ② 歯の喪失防止 ウ 40歳で喪失歯のない者の割合の増加

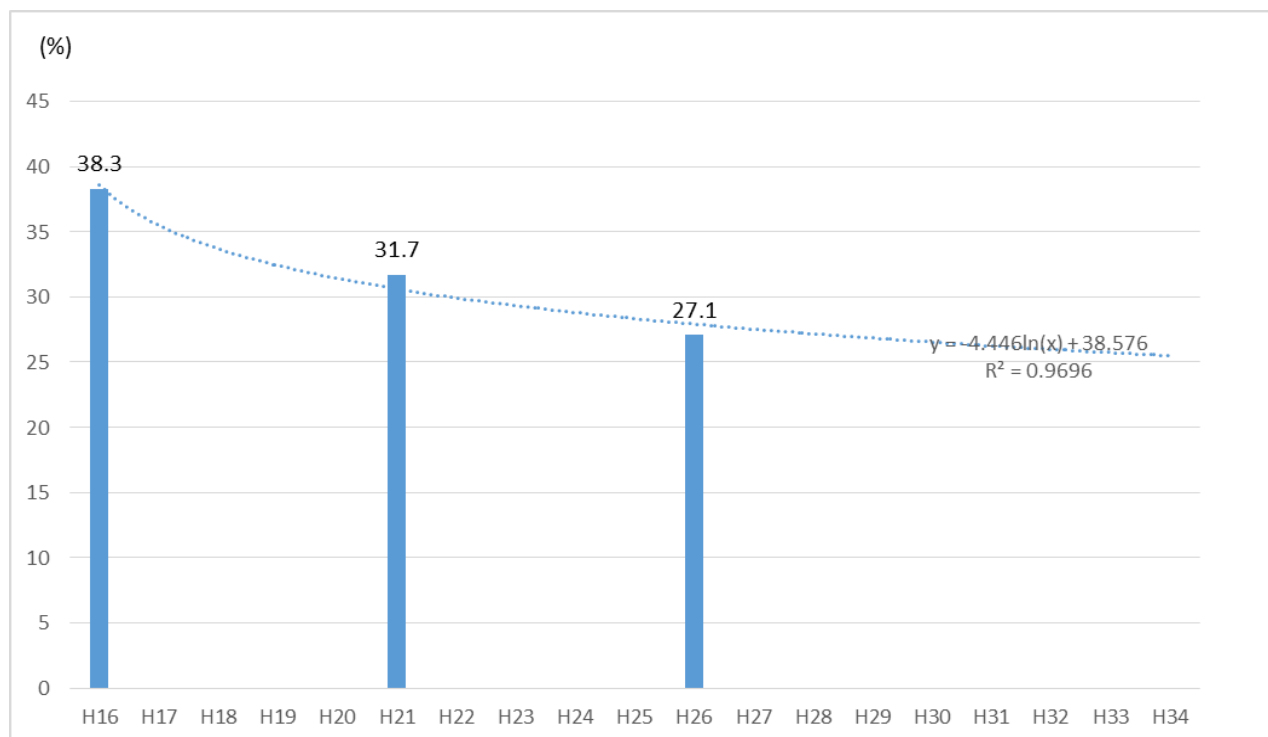
40歳で喪失歯のない者の割合の推移



出典：歯科疾患実態調査

- 5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標
  - (6) 歯・口腔の健康 ③ 歯周病を有する者の割合の減少
    - ア 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少

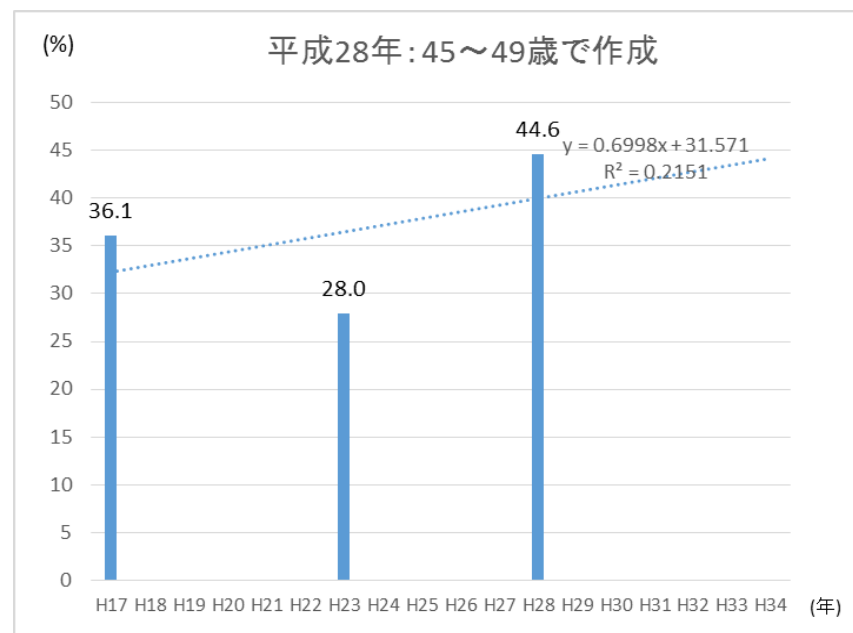
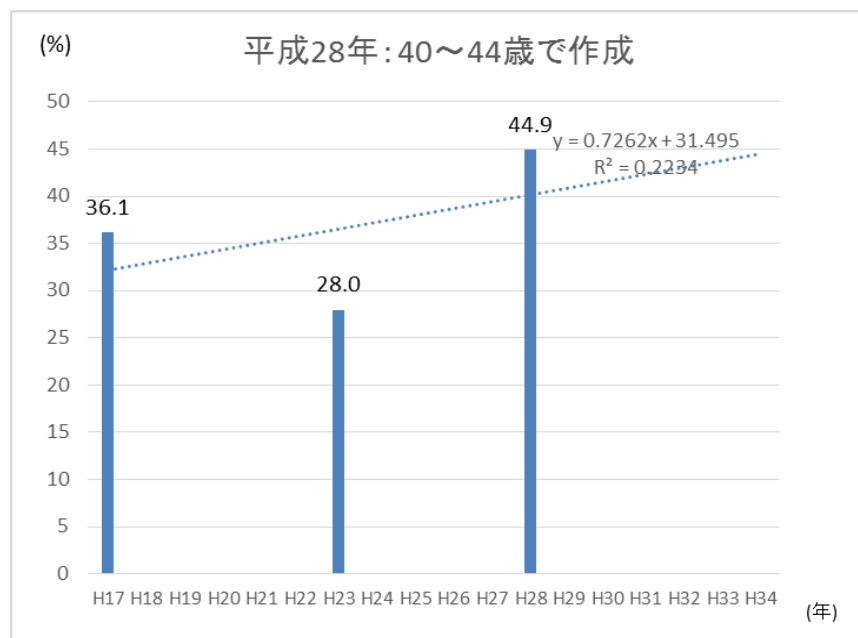
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の推移



出典: 国民健康・栄養調査

5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (6) 歯・口腔の健康 ③ 歯周病を有する者の割合の減少  
 イ 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少

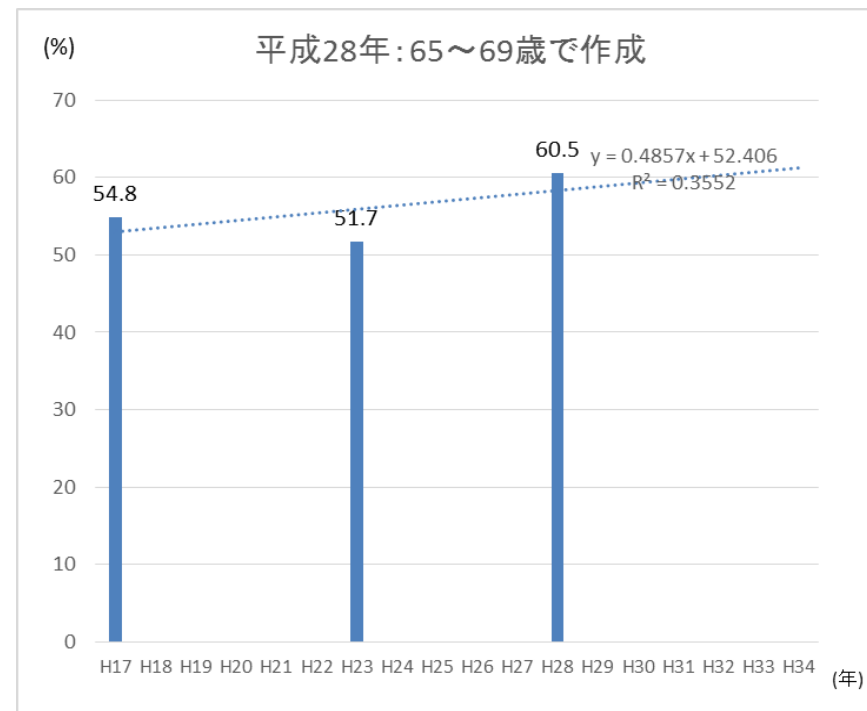
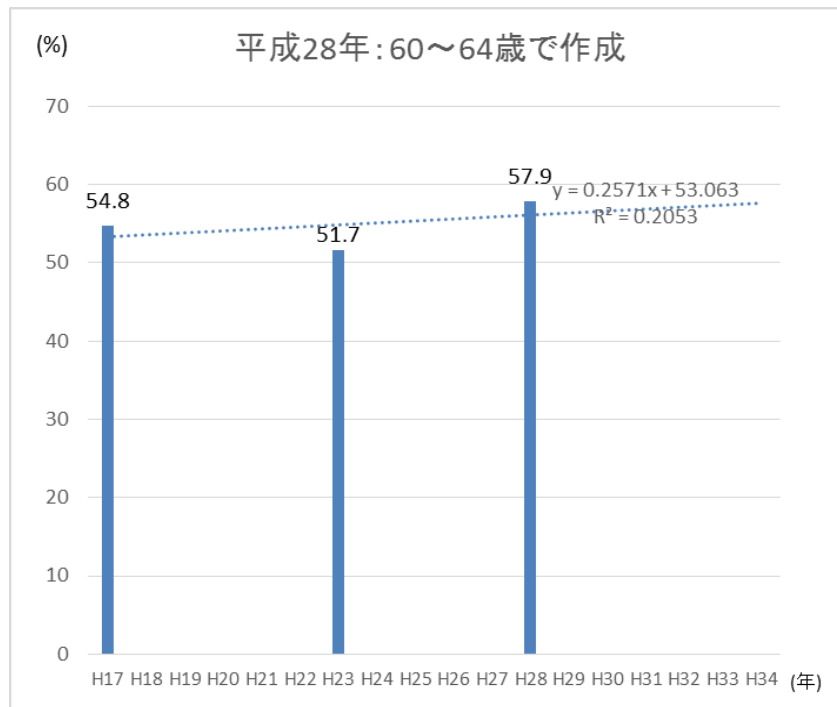
40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の推移



出典：歯科疾患実態調査

5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
 (6) 歯・口腔の健康 ③ 歯周病を有する者の割合の減少  
 ウ 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少

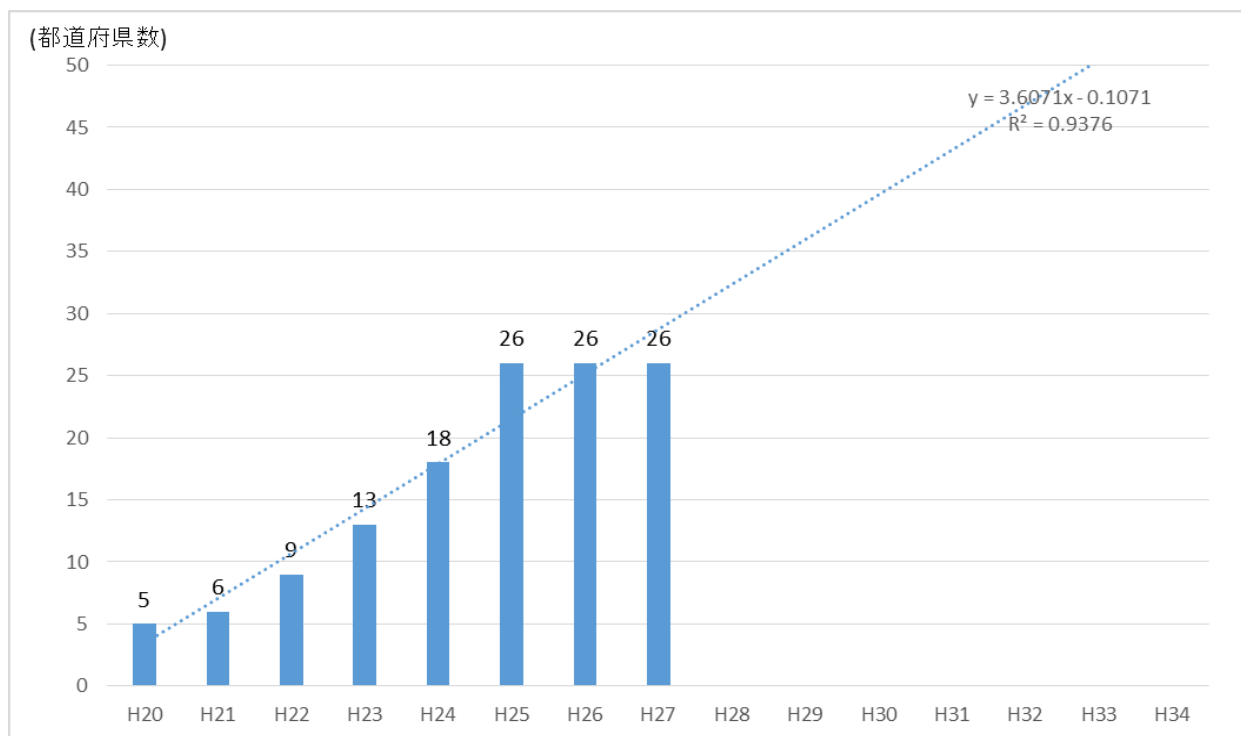
60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の推移



出典：歯科疾患実態調査

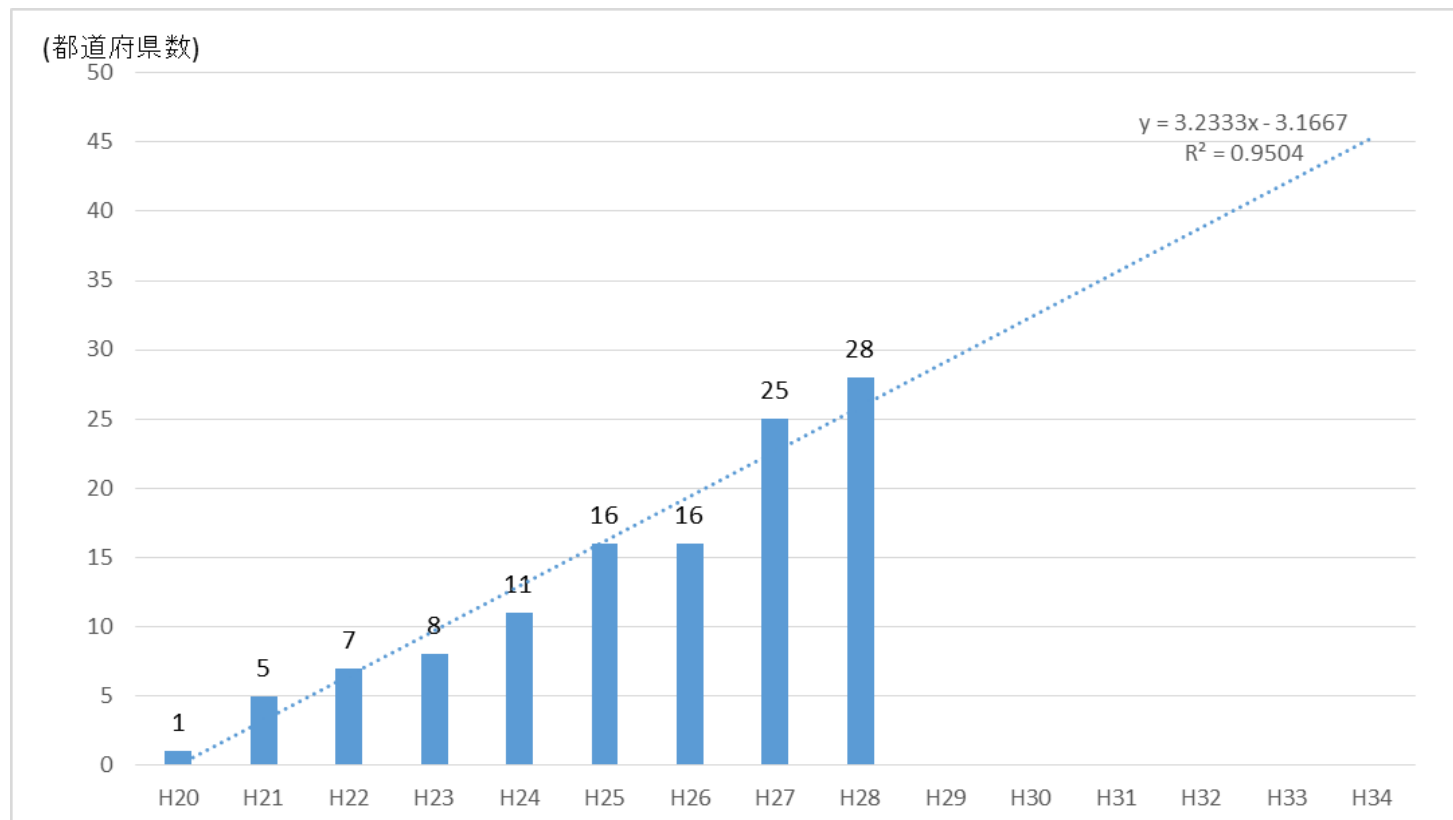
- 5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標
  - (6) 歯・口腔の健康 ④ 幼児・学齢期のう蝕のない者の増加
    - ア 3歳児のう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加

3歳児のう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県数の推移



5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
(6) 歯・口腔の健康 ④ 幼児・学齢期のう蝕のない者の増加  
イ 12歳児の一人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県数の増加

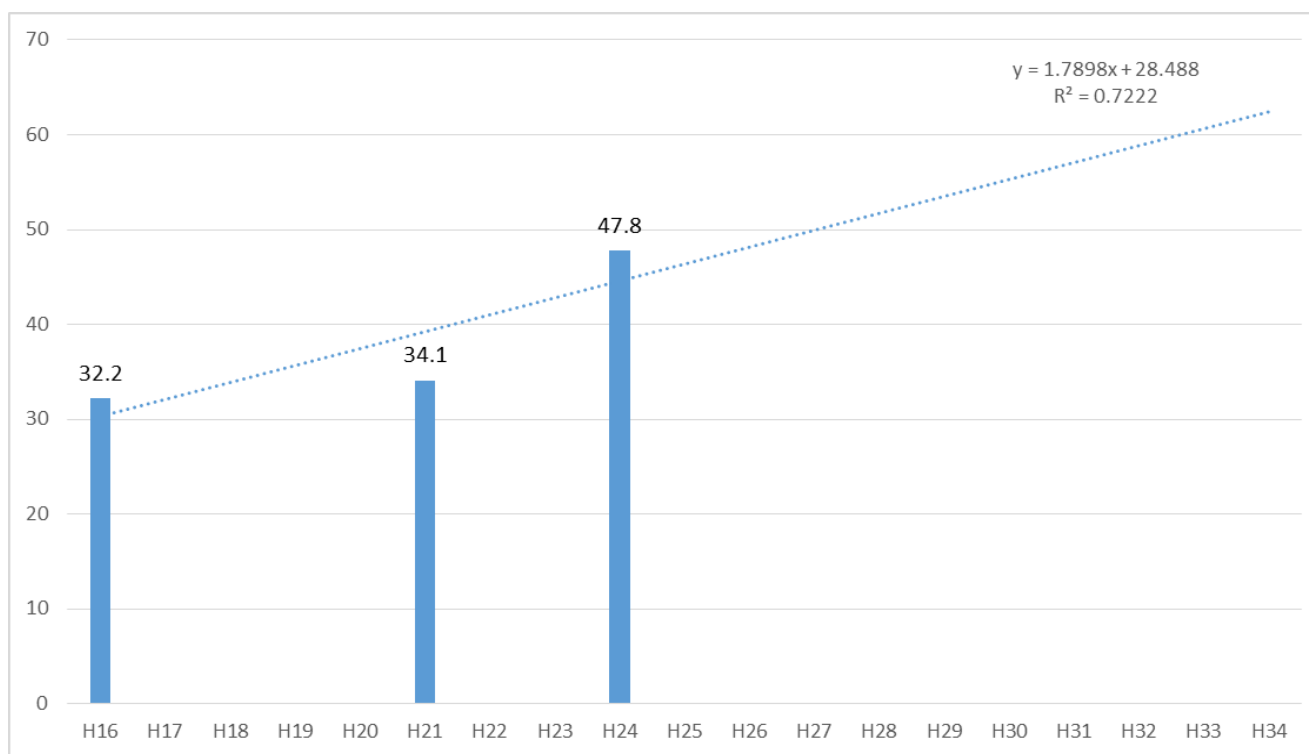
### 12歳児の一人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県数の推移



出典：文部科学省「学校保健統計調

5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標  
(6) 歯・口腔の健康 ⑤過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加

過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の推移



出典：国民健康・栄養調査